

## 国立国語研究所学術情報リポジトリ

“Literature” and “linguistics” as subjects offered at liberal arts colleges of four-year universities

|       |  |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2017-06-13<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 島村, 直己, SHIMAMURA, Naomi<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.15084/00001330">https://doi.org/10.15084/00001330</a>                                    |

# 大学一般教育における「文学」「言語学」

島村 直己

---

SHIMAMURA Naomi : "Literature" and "Linguistics" as Subjects Offered at  
Liberal Arts Colleges of Four-year Universities

**要旨：**本稿は、全国の4年制大学の一般教育科目の中で、「文学」「言語学」に関する科目にどのようなものがあり、そして、それらはどのくらいの大学で開設されているか、ということに関して行った調査の報告である。調査対象とした大学の数は、437校であり、この数字は全国の4年制大学の約9割にあたる。そして、これらの大学で学生に科目の受講案内のために配付している印刷物を資料とした。

**キーワード：**大学、一般教育、科目、文学、言語学、開設、日本

**Abstract :** This is a report on research conducted to find out which “literature” and “linguistics” courses are offered by four-year universities. The target universities total 437 in number, which represents about 90 percent of all universities in Japan. The data used here are compiled from the syllabi distributed by the universities.

**key words :** university, liberal arts, subject, literature, linguistics, Japan

## も く じ

|   |    |
|---|----|
| 1. はじめに                                       | 44 |
| 2. 調査の手続き                                     | 44 |
| (1) 元になるデータ                                   | 44 |
| (2) データの加工と「分野別50音順一般教育科目表」の作成                | 45 |
| 1) 「分野」の認定と分類                                 | 45 |
| 2) 「科目」の認定と「科目名」の規準化                          | 47 |
| 3) 「分野別50音順一般教育科目表」の作成                        | 49 |
| (3) 調査大学・学部                                   | 50 |
| (4) 「分野別50音順一般教育科目表」からの「文学」「言語学」科目の抽出         | 50 |
| 3. 「文学」「言語学」科目の分類と開設状況                        | 51 |
| (1) 「文学」「言語学」科目の分類                            | 51 |
| (2) 「文学」「言語学」科目の開設状況                          | 53 |
| 1) 全般的な開設状況                                   | 53 |
| 2) 「文学」科目と「言語学」科目                             | 56 |
| 3) 「文学」科目(1)——「日本文学」科目と「外国文学」科目——             | 58 |
| 4) 「文学」科目(2)——「日本文学」科目：「古典文学」科目と「近代—現代文学」科目—— | 59 |
| 5) 「文学」科目(3)——「外国文学」科目——                      | 60 |
| 6) 「言語学」科目(1)——「日本語」科目と「外国語」科目——              | 62 |
| 7) 「言語学」科目(2)——「日本語」科目：「日本語一般」科目と「言語技術」科目——   | 63 |
| 8) 「言語学」科目(3)——「外国語」科目——                      | 65 |
| 4. 大学・学部の特性と「文学」「言語学」科目の開設状況                  | 66 |
| (1) 大学の研究機能との関係                               | 66 |
| (2) 大学の学部構成との関係                               | 71 |
| (3) 学部の種類との関係                                 | 71 |
| 5. 調査のまとめ                                     | 73 |
| [注]   | 76 |
| 付録1：調査大学一覧                                    | 80 |
| 付録2：「文学」「言語学」科目の分類                            | 83 |
| 付録3：天野郁夫による大学の分類                              | 89 |
| 付録4：学部分類一覧                                    | 93 |

## 1. はじめに

本稿は、全国の4年制大学の一般教育科目の中で、「文学」「言語学」関係の科目がどのくらいあって、どのような大学で開設されているか、ということに関して行った調査の報告である。筆者らは、これまで、文部省科学研究費補助金総合研究(A)「中等教育と中等後教育との接続関係の実態・動向に関する総合的実証的研究——入学者決定方式、カリキュラム、進路指導——」

(1987年度～1989年度、代表者：国立教育研究所 手塚武彦)の中で、「大学一般教育科目調査」を行って<sup>1)</sup>きた。本稿は、この調査の成果の一つであると同時に、今後「文学」「言語学」以外の学問分野の科目に関して、上記科研費の他の分担者によって行われることが期待される同種の調査のプロトタイプとしての意味を持つものである。<sup>2)</sup>

## 2. 調査の手続き<sup>3)</sup>

### (1) 元になるデータ

「大学一般教育科目調査」のために、次の二つのデータをコンピュータに入力した。<sup>4)</sup>本稿で報告する調査は、主に②の「一般教育科目データ」が元になっている。

#### ① 大学・学部データ

主に、「全国学校総覧1987年版」(原書房刊行)に基づいて、各大学の学部一つ一つを単位に、次の情報をコンピュータに入力した。<sup>5)</sup>

1. 大学コード
2. 大学名
3. 学部名
4. 男女別学生数
5. 一般教育科目の分野別必要単位数と合計必要単位数

#### ② 一般教育科目データ

各大学の「大学要覧」「履修案内」「教授要項」など(以下、「要覧」等)と省略する)に基づいて、一般教育科目の一つ一つを単位に、次の

情報をコンピュータに入力した。ただし、留学生だけを対象とする科目は入力しなかった。

1. 大学コード
2. 学部名
3. 分野名
4. 科目名
5. 付加情報（休講・開講の区別，履修学年，必修・選択の区別）

各大学の「要覧」等は，ほとんどが1987年度用のものであったが，一部，1988年度用のものも含まれていた。<sup>6)</sup>

## (2) データの加工と「分野別50音順一般教育科目表」の作成

ここでは，「一般教育科目データ」を加工して「分野別50音順一般教育科目表」を作成するまでの論理的な経過を説明する。

### 1) 「分野」の認定と分類

一般教育科目の「分野」に関して，「大学設置基準」には次のように述べられている。

#### (一般教育科目)

第二十条 大学は，一般教育科目に関する授業科目を人文，社会及び自然の三分野にわたって開設するものとする。

- 2 前項の授業科目は，一の学問分野に関するもの又は特定の主題を教授するため二以上の学問分野の内容を総合したものとする。

この「大学一般教育科目調査」では，一般教育科目の「分野」（科目のひとままとまり）を，各大学の「要覧」等に基づいて，次のように認定した。

- ・「分野」の欄に，分野名が記されている科目の区分。
- ・「系列」「区分」などと名付けられた欄に，分野名にあたる語句が記され

ている科目の区分。「系列」「区分」などの名前が記されていない場合もあるが、その場合はこれに準じた。

このように認定した分野を、次の九つに分類した。

#### 1. 人文

「人文」「人文分野」「人文科学」「人文系」など、「人文」の名前を付けられている分野。

#### 2. 社会

「社会」「社会分野」「社会科学」「社会系」など、「社会」の名前を付けられている分野。

#### 3. 自然

「自然」「自然分野」「自然科学」「自然系」など、「自然」の名前を付けられている分野。

#### 4. 人文・社会

「人文・社会共通」「人文または社会」「人文・社会」などの名前を付けられている分野。<sup>7)</sup>

#### 5. 人文・自然

「人文・自然科学分野共通」(立教大学)「人文自然」(関東学院大学)の名前を付けられている分野。

#### 6. 社会・自然

「社会・自然共通」(横浜国立大学)「社会・自然科学分野共通」(立教大学)の名前を付けられている分野。

#### 7. 人文・社会・自然

「人文・社会・自然科学3分野共通」(立教大学)「人文・社会・自然各分野共通系列」(二松学舎大学)の名前を付けられている分野。

#### 8. 総合

「総合」「総合コース」「総合科目」「総合講義」「総合分野」など、「総合」の名前を付けられている分野。<sup>8)</sup>

#### 9. その他

これには、上の八つ以外の分野名のものを入れた。また、分野の区切りがしてあるだけで分野名のないものや、分野名と科目名が同じものも、この中に入れた。<sup>9)</sup>

## 2) 「科目」の認定と「科目名」の規準化

各大学の「要覧」等の「授業科目」「学科目」「科目」などの欄に書かれてあるものを、原則として「科目」と認定した。しかし、科目名の示し方に関しては、大学・学部によってかなりの違いが見られた。そのため、「分野別50音順一般教育科目表」に集計するにあたって、それぞれの科目名を次のように規準化した。

1. 通し番号やアルファベットなどが付けられた科目名は、その通し番号やアルファベットなどを除いたものを科目名とした。通し番号やアルファベットの後、直接語句が連続する場合は、中黒（・）で区切った。

音楽（A）（B），音楽（D），音楽（I・II）→音楽

経済学1部（マルクス経済学）→経済学（マルクス経済学）

経済学2部（近代経済学）→経済学（近代経済学）

化学実験Pロ，化学実験I，化学実験II→化学実験

児童文学I（日本）→児童文学（日本）

児童文学II（西洋）→児童文学（西洋）

物理学I・同演習→物理学・同演習

物理学（A）補講→物理学・補講

2. 「初級・中級」「前期・後期」「正・続」「甲・乙」「1部・2部」「特」などの語句が付けられている科目名は、それらの語句を除いたものを科目名とした。

イタリア語（初級）→イタリア語

漢文講読（伝奇小説・続）→漢文講読（伝奇小説）

芸術論I（音楽）（後）→芸術論（音楽）

芸術論I（音楽）（前）（後）→芸術論（音楽）

法学（甲）→法学

キリスト教概説（特）→キリスト教概説

3. 「文系用・理系用」「英文科・史学科」などの、受講学生を限定する語句が付けられている科目名は、それらの語句を除いたものを科目名とした。

基礎演習（史学科）、基礎演習（日本文学科）→基礎演習

人文地理学特殊講義（文系用）、人文地理学特殊講義（理系用）→  
人文地理学特殊講義

4. 角括弧は丸括弧に変えた。

化学A〔一般化学〕→化学（一般化学）

化学C〔物理化学〕→化学（物理化学）

5. 科目名が二重構造で示されている場合がある。（例えば、「化学」という大きな科目名のもとに、「演習」「講義」「実験」「概説」などの小さな科目名が示されている場合である。（元データの「一般教育科目データ」では不等号(>)で区別して、「化学>演習」「化学>講義」「化学>実験」「化学>概説」のようにコンピュータに入力したので、以下の例でもその書き方を用いる）。この場合、小さな科目名が「講義」「実験」などの授業形態を表すときは、大きな科目名と小さな科目名を中黒（・）で区切ったものを科目名とした。それ以外のときは、小さな科目名を科目名とした。

物理学>物理学Ⅰ、物理学>物理学Ⅱ→物理学

化学>講義→化学・講義

化学>実験→化学・実験

外国文学>ドイツ文学→ドイツ文学

外国文学>英文学→英文学

6. 科目名の表記の違いは、原則として無視した。例外として、「総合」「コンピューター」「線型」のみ、それぞれ「総合」「コンピューター」「線形」に変えた。また、括弧内の句点（。）を除いた。

総合科目A「アジアの中の日本」及特論A→総合科目『『アジアの中の日本』及特論』

線型代数学→線形代数学

化学II（実験を含む。）→化学（実験を含む）

7. 「演習」「セミナー」などの副題目は、かぎ括弧（「」）で囲んだ。

セミナーC1（社会科学入門）→セミナー「社会科学入門」

一般教育演習・サンテグジュペリ研究→一般教育演習「サンテグジュペリ研究」

8. 「法学（憲法）」「法学（憲法2単位を含む）」など、「法学」の中に括弧をして「憲法」を含むものは、すべて「法学」に統一した。

このように科目名を規準化した結果、同じ名前の科目が同一の大学・学部で複数あることになる場合が生じる。「分野別50音順一般教育科目表」に集計するにあたって、その科目はその大学・学部では一つと数えて集計した。

### 3) 「分野別50音順一般教育科目表」の作成

以上のように「分野」「科目」を規定・処理して、全国の4年制大学で開設されている一般教育科目を、次の基準で分野別に50音順に表の形式で一覧し<sup>10)</sup>た。その一部を、表1に示す。全部で3,954の異なる科目が得られた。

表1 分野別50音順一般教育科目表（部分）

| 一 般 教 育 科 目 名                            | 大学数（学部数） |       |        |
|--|----------|-------|--------|
|  | 国 公 立    | 私 立   | 全 体    |
| アイヌ学                                     | 0( 0)    | 1( 1) | 1( 1)  |
| アイヌ文学                                    | 0( 0)    | 1( 2) | 1( 2)  |
| アウグスティヌスの思想                              | 0( 0)    | 1( 6) | 1( 6)  |
| アジア史                                     | 3( 25)   | 0( 0) | 3( 25) |
| アジア史研究                                   | 1( 1)    | 0( 0) | 1( 1)  |
| アジア思想史                                   | 1( 4)    | 1( 1) | 2( 5)  |
| アジア地誌                                    | 1( 1)    | 0( 0) | 1( 1)  |
| A General Survey of Indian<br>Philosophy | 0( 0)    | 1( 6) | 1( 6)  |
| アメリカ史                                    | 2( 12)   | 0( 0) | 2( 12) |
| アメリカ史研究                                  | 1( 1)    | 0( 0) | 1( 1)  |
| アメリカ地域研究                                 | 1( 1)    | 0( 0) | 1( 1)  |
| アメリカ文化                                   | 1( 4)    | 0( 0) | 1( 4)  |
| アメリカ文学研究                                 | 1( 1)    | 0( 0) | 1( 1)  |
| 医学古典語                                    | 0( 0)    | 1( 1) | 1( 1)  |

1. 分野は、「人文」「社会」「自然」「人文・社会」「人文・自然」「社会・自然」「人文・社会・自然」「総合」「その他」の九つに分けた。
2. それぞれの分野ごとに、50音順に一般教育科目を配列した。分野の異なる科目は、名前が同じでも異なる科目とした。
3. 科目ごとに、「国公立」と「私立」に分けて、開設している大学数・学部数を示した。

### (3) 調査大学・学部

調査対象とした大学・学部の数は、表2に示す通りである。大学・学部とも、9割以上の調査率となっている。調査大学は、本稿末の「付録1：調査大学一覧」に示した。(国際大学は大学院大学なので、表2の「全体」から除いた。また、放送大学は「全体」に入っていない)。

各大学から送られた資料だけでは、一般教育科目の開設状況がよく分からない大学・学部がいくつかあったが、それは調査対象から除いた。また、一部の学部しか調査できなかった大学もある。

表2 調査大学・学部数, 調査率 (%)

|     | 大 学  |      |      |      | 学 部  |      |      |      |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
|     | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   |
| 全体数 | 95   | 37   | 341  | 473  | 352  | 85   | 766  | 1203 |
| 調査数 | 89   | 34   | 314  | 437  | 330  | 81   | 684  | 1095 |
| 調査率 | 93.7 | 91.9 | 92.1 | 92.4 | 93.8 | 95.3 | 89.3 | 91.0 |

### (4) 「分野別50音順一般教育科目表」からの「文学」「言語学」科目の抽出

「分野別50音順一般教育科目表」から、次の基準で「文学」「言語学」関係の科目を抽出した。以下、「文学」「言語学」関係の一般教育科目のことを、単に『文学』『言語学』科目」と言うことにする。(ほかの科目の場合も同様である)。

### 〈抽出したもの〉

1. 「文学」「国文」「文芸」「言語」「国語」などの語を含む科目。(ただし、それらの含まれている科目でも、「文学」「言語学」以外の学問分野の科目と思われるものは抽出しなかった)。
2. 「文学」「国文」「文芸」「言語」などの語を含まなくても、明らかにそれらの下位区分にあたると考えられる科目。(「点字」「手話」「マスコミュニケーション」「ジャーナリズム」「図書館学」「コミュニケーション」「記号論」だけが主題となった科目は抽出しなかった)。
3. 文学者が主題となっている科目。
4. 戯曲。(歌曲、演劇は抽出しなかった)。
5. 文学作品を講読する科目。(書物を読むことが主題となっても、「文学」「言語学」以外の学問分野のものと思われるものや、どのような目的で行われているのか分からないものは抽出しなかった)。

ただし、「要覧」等に十分な記述がなく内容のよく分からない科目があったり、また、抽出の候補となる科目についてもう一度「要覧」等を見ることが難しかったこともあって、上にあげた抽出の基準の適用をやや厳しくした。抽出した科目は、「付録2：『文学』『言語学』科目の分類」に一覧した。

### 3. 「文学」「言語学」科目の分類と開設状況

#### (1) 「文学」「言語学」科目の分類

「分野別50音順一般教育科目表」から抽出した「文学」「言語学」科目を、次の基準で分類した。

1. まず、全体を「文学」と「言語学」に分類した。(「文学」と「言語学」の複合した科目があったので、実際には、「文学－言語学」「文学」「言語学」の三つに分類した)。
2. その次に、「日本(文学・語)」と「外国(文学・語)」に分類した。(「日本(文学・語)」と「外国(文学・語)」のどちらに属すか分からない科目があったので、実際には、「一般」「日本(文学・語)」「外国(文学・

語)」の三つに分類した)。

3. 最後に、「文学・日本文学」に関しては、「古典文学」と「近代－現代文学」に分類した。(「古典文学」と「近代－現代文学」のどちらに属すか分からない科目があったので、実際には、「一般」「古典文学」「近代－現代文学」の三つに分類した)。「文学・外国文学」に関しては、どの国の文学か分かるように分類した。「言語学・日本語」に関しては、「言語技術」を扱ったものかそうでないものが分かるように分類した。「言語学・外国語」に関しては、どの国の言語を扱ったものか分かるように分類した。そして、「文学－言語学」に関しては、以上にならった。

この結果、以下の分類となった。(科目が実際には存在しなかった分類は省いた。また、「比較文学」「読書」「対照研究」のように、上の基準で分類できなかったものを入れた。結果として、37個の科目群となった)。

文学－言語学・一般・一般

文学－言語学・日本(文学・語)・一般

文学－言語学・外国(文学・語)・英米(文学・語)

文学－言語学・外国(文学・語)・フランス(文学・語)

文学－言語学・外国(文学・語)・ドイツ(文学・語)

文学・一般・一般

文学・一般・古典文学

文学・一般・近代－現代文学

文学・日本文学・一般

文学・日本文学・古典文学

文学・日本文学・近代－現代文学

文学・外国文学・一般

文学・外国文学・東洋文学

文学・外国文学・西洋文学

文学・外国文学・中国文学

文学・外国文学・英米文学

文学・外国文学・フランス文学

文学・外国文学・ドイツ文学

文学・外国文学・ロシア文学

文学・外国文学・その他

文学・比較文学・一般

文学・読書・一般

言語学・一般・一般

言語学・一般・言語技術—一般

言語学・一般・言語技術—表現

言語学・一般・対照研究

言語学・日本語・一般

言語学・日本語・言語技術—表現

言語学・日本語・言語技術—理解

言語学・日本語・言語技術—書道

言語学・外国語・一般

言語学・外国語・西洋語

言語学・外国語・中国語

言語学・外国語・英米語

言語学・外国語・フランス語

言語学・外国語・ドイツ語

言語学・外国語・その他

## (2) 「文学」「言語学」科目の開設状況

### 1) 全体的な開設状況

「分野別50音順一般教育科目表」から抽出した「文学」「言語学」科目を、2の(1)で説明した「一般教育科目データ」からすべて抜き出して、種々の集計作業を行った。(各大学の「要覧」等で、その年度「休講」とされている科目も区別せずに集計した。これは、「分野別50音順一般教育科目表」でも同じ

である)。

ある科目について、どれか一つの学部でも開設していればその学部の属す大学で開設していると考え。このようにして、どの科目についても、「学部の開設率」(調査学部中の開設している学部の割合)だけでなく、「大学の開設率」(調査大学中の開設している大学の割合)も求めることができる。「大学の開設率」は、大学間の比較をするときに便利である。以下行う分析では、「文学」「言語学」科目が、どのくらいの割合の大学・学部で開設されているか、ということに中心をおく。

表3は、上述の科目の分類に基づいて、「文学」「言語学」科目の開設率をまとめたものである。(表中、「文-言」は「文学-言語学」,「一」は「一般」,「日」は「日本(文学・語)」,「外」は「外国(文学・語)」,「比」は「比較文学」,「読」は「読書」,「古典」は「古典文学」,「近-現代」は「近代-現代文学」,「技-一般」は「言語技術-一般」,「技-表現」は「言語技術-表現」,「技-理解」は「言語技術-理解」,「技-書道」は「言語技術-書道」のそれぞれ略である。また、国名の後の「文学」「語」は略した。後出の表13,表15,表17も同じである)。以下、この分類で示される科目のまとまりを「科目群」と呼ぶことにする。

試みに、「全体」で10%以上の開設率の科目群を見ると、大学・学部のいずれも、

文学・一般・一般

文学・日本文学・一般

文学・外国文学・西洋文学

文学・外国文学・中国文学

言語学・一般・一般

言語学・日本語・一般

である。基準を低くして、5%以上10%未満の開設率の科目群を、大学・学部を区別せずあげると、

文学-言語学・(日本文学・語)・一般

表3 「文学」「言語学」科目の開設率——国立・公立・私立別——

| 科 目 群      | 大 学  |      |      |      | 学 部  |      |      |      |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|            | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   |
| 文一言・一・一般   | 0.0  | 0.0  | 0.3  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.4  | 0.3  |
| 文一言・日・一般   | 9.0  | 14.7 | 3.8  | 5.7  | 11.2 | 25.9 | 3.7  | 7.6  |
| 文一言・外・英米   | 0.0  | 0.0  | 0.3  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.1  | 0.1  |
| 文一言・外・フランス | 0.0  | 0.0  | 0.3  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.1  | 0.1  |
| 文一言・外・ドイツ  | 0.0  | 0.0  | 0.3  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.1  | 0.1  |
| 文学・一・一般    | 67.4 | 64.7 | 73.2 | 71.4 | 56.7 | 61.7 | 74.4 | 68.1 |
| 文学・一・古典    | 2.2  | 2.9  | 2.5  | 2.5  | 3.3  | 1.2  | 2.5  | 2.6  |
| 文学・一・近現代   | 1.1  | 0.0  | 1.6  | 1.4  | 2.4  | 0.0  | 2.2  | 2.1  |
| 文学・日・一般    | 34.8 | 35.3 | 27.1 | 29.3 | 48.8 | 38.3 | 26.5 | 34.1 |
| 文学・日・古典    | 4.5  | 0.0  | 2.2  | 2.5  | 5.8  | 0.0  | 2.8  | 3.5  |
| 文学・日・近現代   | 3.4  | 0.0  | 3.2  | 3.0  | 3.6  | 0.0  | 3.7  | 3.4  |
| 文学・外・一般    | 9.0  | 11.8 | 7.0  | 7.8  | 13.6 | 7.4  | 7.3  | 9.2  |
| 文学・外・東洋    | 2.2  | 5.9  | 0.6  | 1.4  | 5.5  | 27.2 | 0.4  | 3.9  |
| 文学・外・西洋    | 20.2 | 17.6 | 7.3  | 10.8 | 29.4 | 39.5 | 9.4  | 17.6 |
| 文学・外・中国    | 29.2 | 8.8  | 9.2  | 13.3 | 43.6 | 9.9  | 13.5 | 22.3 |
| 文学・外・英米    | 12.4 | 0.0  | 6.1  | 6.9  | 17.9 | 0.0  | 6.4  | 9.4  |
| 文学・外・フランス  | 7.9  | 0.0  | 2.2  | 3.2  | 12.1 | 0.0  | 2.2  | 5.0  |
| 文学・外・ドイツ   | 11.2 | 0.0  | 2.5  | 4.1  | 17.6 | 0.0  | 2.9  | 7.1  |
| 文学・外・ロシア   | 4.5  | 0.0  | 0.3  | 1.1  | 7.6  | 0.0  | 0.1  | 2.4  |
| 文学・外・その他   | 0.0  | 2.9  | 1.3  | 1.1  | 0.0  | 2.5  | 1.8  | 1.3  |
| 文学・比・一般    | 2.2  | 0.0  | 2.5  | 2.3  | 3.9  | 0.0  | 3.2  | 3.2  |
| 文学・読・一般    | 2.2  | 0.0  | 0.6  | 0.9  | 3.9  | 0.0  | 0.3  | 1.4  |
| 言語学・一・一般   | 25.8 | 8.8  | 11.1 | 14.0 | 28.8 | 6.2  | 12.3 | 16.8 |
| 言語学・一・技一般  | 0.0  | 0.0  | 1.3  | 0.9  | 0.0  | 0.0  | 1.2  | 0.7  |
| 言語学・一・技表現  | 2.2  | 2.9  | 8.9  | 7.1  | 2.1  | 1.2  | 9.6  | 6.8  |
| 言語学・一・対照研究 | 1.1  | 0.0  | 1.6  | 1.4  | 0.3  | 0.0  | 1.5  | 1.0  |
| 言語学・日・一般   | 27.0 | 14.7 | 14.6 | 17.2 | 33.3 | 21.0 | 14.9 | 20.9 |
| 言語学・日・技表現  | 1.1  | 0.0  | 8.6  | 6.4  | 3.3  | 0.0  | 8.2  | 6.1  |
| 言語学・日・技理解  | 0.0  | 0.0  | 0.3  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.1  | 0.1  |
| 言語学・日・技書道  | 1.1  | 0.0  | 1.3  | 1.1  | 0.3  | 0.0  | 0.7  | 0.5  |
| 言語学・外・一般   | 2.2  | 0.0  | 1.0  | 1.1  | 4.5  | 0.0  | 1.2  | 2.1  |
| 言語学・外・西洋   | 1.1  | 0.0  | 0.3  | 0.5  | 2.7  | 0.0  | 0.6  | 1.2  |
| 言語学・外・中国   | 0.0  | 2.9  | 0.6  | 0.7  | 0.0  | 1.2  | 0.7  | 0.5  |
| 言語学・外・英米   | 4.5  | 2.9  | 4.5  | 4.3  | 6.4  | 2.5  | 3.9  | 4.6  |
| 言語学・外・フランス | 0.0  | 0.0  | 1.0  | 0.7  | 0.0  | 0.0  | 0.9  | 0.5  |
| 言語学・外・ドイツ  | 4.5  | 0.0  | 1.0  | 1.6  | 6.1  | 0.0  | 0.4  | 2.1  |
| 言語学・外・その他  | 4.5  | 0.0  | 1.0  | 1.6  | 9.7  | 0.0  | 0.4  | 3.2  |
| 調査大学・学部数   | 89   | 34   | 314  | 437  | 330  | 81   | 684  | 1095 |

文学・外国文学・一般

文学・外国文学・英米文学

文学・外国文学・フランス文学

文学・外国文学・ドイツ文学

言語学・一般・言語技術－表現

言語学・日本語・言語技術－表現

である。大学・学部のいずれも、比較的一般的な内容の科目の開設率が高い。そして、「外国文学」（「西洋文学」「中国文学」「英米文学」「フランス文学」「ドイツ文学」）「言語技術－表現」などの科目も比較的開設率が高い。

さて、表3を、開設率の大きさによって、やや変形の度数分布表にまとめたものが表4である（全部で37の科目群）。表3、表4から、「国立」「公立」「私立」の違いに関して、次の二つのことが言えよう。

- ・開設率の高い科目群（開設率が10%以上の科目群、開設率が5%以上の科目群）の数をみると、「国立」がいちばん多く、「公立」「私立」の順に少なくなる。そして、この傾向は、大学の場合よりも学部の場合のほうがはっきりとしている。
- ・そして、表3に見られるように、「国立」は、「公立」「私立」に比べて、「外国文学」科目、「外国語」科目の開設率が高い。

表4 開設率別科目群数——国立・公立・私立別——

| 開設率        | 大 学 |    |    | 学 部 |    |    |
|------------|-----|----|----|-----|----|----|
|            | 国立  | 公立 | 私立 | 国立  | 公立 | 私立 |
| 10.0－100.0 | 8   | 6  | 4  | 11  | 6  | 5  |
| 5.0－ 9.9   | 3   | 3  | 6  | 6   | 3  | 5  |
| 0.0－ 4.9   | 26  | 28 | 27 | 20  | 28 | 27 |

## 2) 「文学」科目と「言語学」科目

表5は、「文学」科目と「言語学」科目それぞれの開設率を示したものであ

表5 「文学」科目と「言語学」科目の開設率

|           | 大 学  |      |      |      | 学 部  |      |      |      |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|           | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   |
| 両方開設      | 51.7 | 41.2 | 36.9 | 40.3 | 58.8 | 54.3 | 38.7 | 45.9 |
| 「文学」科目だけ  | 47.2 | 50.0 | 56.4 | 54.0 | 39.5 | 42.0 | 56.0 | 50.0 |
| 「言語学」科目だけ | 0.0  | 2.9  | 2.2  | 1.8  | 1.5  | 1.2  | 1.5  | 1.5  |
| 開設していない   | 1.1  | 5.9  | 4.5  | 3.9  | 0.2  | 2.5  | 3.8  | 2.6  |
| 調査大学・学部数  | 89   | 34   | 314  | 437  | 330  | 81   | 684  | 1095 |

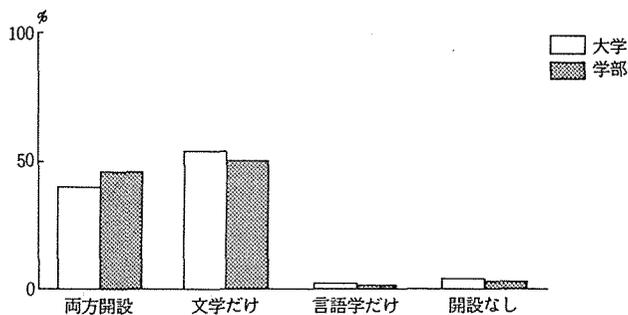


図1 「文学」科目と「言語学」科目の開設率(全体)

る。「文学－言語学」科目は、「両方とも開設している」に入れた)。図1は、「全体」について、グラフに表したものである。表5、図1から、次のことが言えよう。

- ・調査大学・学部のほとんどが「文学」「言語学」科目を開設している。開設していない大学・学部の割合は、3、4%である。
- ・「文学」科目を開設している大学・学部の割合が大きい。「両方開設」「『文学』科目だけ」をあわせると、大学で94.3%、学部で95.9%の開設率である。
- ・「言語学」科目の開設率（「両方開設」と「『言語学』科目だけ」の合計）は、大学42.1%、学部47.4%である。4、5割の大学・学部が「言語学」科目を開設していることになるが、「言語学」科目だけを開設している大

学・学部の割合は、どちらも2%弱できわめて小さい。

- ・大学・学部とも、「国立」「公立」「私立」の順に、「両方開設」の割合が小さくなって、「『文学』科目だけ」の割合が大きくなる、という傾向が見られる。「国立」「公立」「私立」の順に、「文学」科目と「言語学」科目の両方を開設することが少なくなって、「文学」科目だけを開設する傾向が強くなる、と言えよう。

### 3) 「文学」科目(1)——「日本文学」科目と「外国文学」科目——

表6は、「日本文学」科目と「外国文学」科目それぞれの開設率を示したものである。(どの国の文学を扱っているのか分からない「一般」に入れた科目は、「外国文学」を意図的に扱っていないという理由で、「日本文学」に入れ

表6 「日本文学」科目と「外国文学」科目の開設率

|            | 大 学  |      |      |      | 学 部  |      |      |      |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|            | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   |
| 両方開設       | 41.6 | 32.4 | 23.6 | 27.9 | 58.9 | 49.4 | 27.8 | 38.7 |
| 「日本文学」科目だけ | 56.2 | 58.8 | 69.4 | 65.9 | 36.4 | 46.9 | 66.8 | 56.2 |
| 「外国文学」科目だけ | 1.1  | 0.0  | 0.3  | 0.5  | 3.0  | 0.0  | 0.1  | 1.0  |
| 開設していない    | 1.1  | 8.8  | 6.7  | 5.7  | 1.7  | 3.7  | 5.3  | 4.1  |
| 調査大学・学部数   | 89   | 34   | 314  | 437  | 330  | 81   | 684  | 1095 |

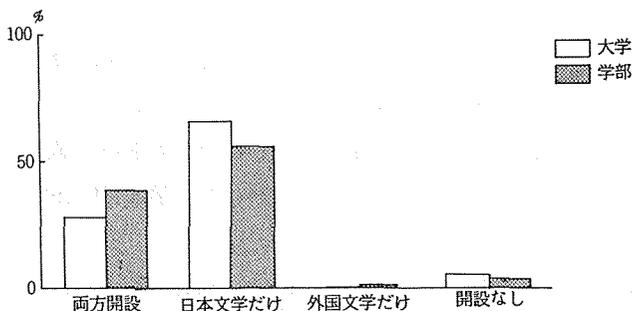


図2 「日本文学」科目と「外国文学」科目の開設率(全体)

た。また、「比較文学」は「両方開設」に入れた。「読書」は除外した)。図2は、「全体」について、グラフに表したものである。表6, 図2から、次のことが言えよう。

- ・調査大学・学部のひとつが「日本文学」科目を開設している。「両方開設」と「『日本文学』だけ」をあわせると、大学93.8%, 学部94.9%である。
- ・「外国文学」科目の開設率（「両方開設」と「『外国文学』科目だけ」の合計）は、大学28.4%, 学部39.7%である。3, 4割の大学・学部が「外国文学」科目を開設していることになるが、「外国文学」科目だけを開設している大学・学部の割合は、どちらも1%ほどできわめて小さい。
- ・大学・学部とも、「国立」「公立」「私立」の順に、「両方開設」の割合が小さくなって、「『日本文学』科目だけ」の割合が大きくなっていく。「国立」「公立」「私立」の順に、「日本文学」科目と「外国文学」科目の両方を開設することが少なくなって、「日本文学」科目だけを開設する傾向が強くなる、と言えよう。

4) 「文学」科目(2)——「日本文学」科目：「古典文学」科目と「近代—現代文学」科目——

「日本文学」科目を、「古典文学」科目と「近代—現代文学」科目の二つに分けた。（どちらを扱っているのか分からない「一般」に入れた科目は、「古

表7 「古典文学」科目と「近代—現代文学」科目の開設率

|               | 大 学  |      |      |      | 学 部  |      |      |      |
|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|               | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   |
| 両方開設          | 5.6  | 2.9  | 4.5  | 4.6  | 8.5  | 1.2  | 5.3  | 5.9  |
| 「古典文学」科目だけ    | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  |
| 「近代—現代文学」科目だけ | 92.2 | 88.3 | 88.5 | 89.2 | 86.8 | 95.1 | 89.3 | 89.0 |
| 開設していない       | 2.2  | 8.8  | 7.0  | 6.2  | 4.7  | 3.7  | 5.4  | 5.1  |
| 調査大学・学部数      | 89   | 34   | 314  | 437  | 330  | 81   | 684  | 1095 |

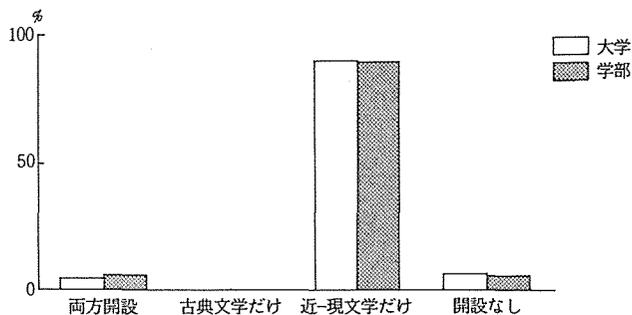


図3 「古典文学」科目と「近代-現代文学」科目の開設率(全体)

典文学」を意図的に扱っていないという理由で、「近代-現代文学」に入れた)。表7は、「古典文学」科目と「近代-現代文学」科目それぞれの開設率を示したものである。図3は、「全体」について、グラフに表したものである。表7、図3から、次のことが言えよう。

- ・ほとんどの大学・学部が、「近代-現代文学」科目を開設している。「両方開設」と『『近代-現代文学』科目だけ』をあわせると、大学・学部とも、9割5分ほどの開設率である。
- ・「古典文学」科目を開設している大学・学部の割合(「両方開設」と『『古典文学』科目だけ』の合計)は、大学・学部とも5.6%である。そして、『『古典文学』科目だけ』は、大学・学部とも、まったくない。
- ・「国立」「公立」「私立」別に見ても、大学・学部とも、「近代-現代文学」科目の開設率がきわめて高い。そして、特に「公立」で、「古典文学」科目の開設率が低い。(「古典文学」科目の開設率は、「国立」「私立」「公立」の順に小さくなるが、「国立」と「私立」の差は、「私立」と「公立」の差ほどはない)。

#### 5) 「文学」科目(3)——「外国文学」科目——

表8は、「外国文学」科目の開設率を国(地域)別に示したものである。(「文学-言語学・外国(文学・語)」に属す科目も加えて計算した)。なお、「外国

表 8 「外国文学」科目の開設率

|             | 大 学  |      |     |      | 学 部  |      |      |      |
|-------------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
|             | 国立   | 公立   | 私立  | 全体   | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   |
| 外国文学一般      | 9.0  | 11.8 | 7.0 | 7.8  | 13.6 | 7.4  | 7.3  | 9.2  |
| 東洋文学一般      | 2.2  | 5.9  | 0.6 | 1.4  | 5.5  | 27.2 | 0.4  | 3.9  |
| 西洋文学一般      | 20.2 | 17.6 | 7.3 | 10.8 | 29.4 | 39.5 | 9.4  | 17.6 |
| 中国文学        | 29.2 | 8.8  | 9.2 | 13.3 | 43.6 | 9.9  | 13.5 | 22.3 |
| 英米文学        | 12.4 | 0.0  | 6.4 | 7.1  | 12.4 | 0.0  | 6.4  | 7.1  |
| フランス文学      | 7.9  | 0.0  | 2.5 | 3.4  | 7.9  | 0.0  | 2.5  | 3.4  |
| ドイツ文学       | 11.2 | 0.0  | 2.9 | 4.3  | 11.2 | 0.0  | 2.9  | 4.3  |
| ロシア文学       | 4.5  | 0.0  | 0.3 | 1.1  | 7.6  | 0.0  | 0.1  | 2.4  |
| 上記以外の国の外国文学 | 0.0  | 2.9  | 1.3 | 1.1  | 0.0  | 2.5  | 1.8  | 1.3  |
| 調査大学・学部     | 89   | 34   | 314 | 437  | 330  | 81   | 684  | 1095 |

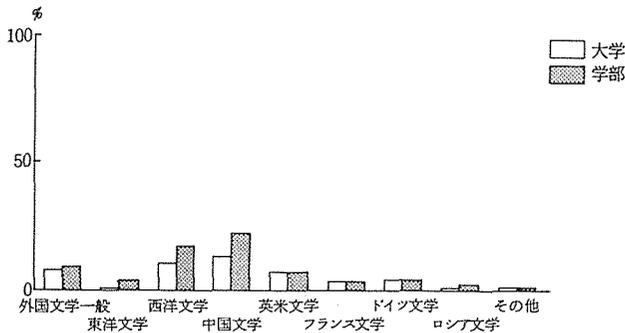


図 4 「外国文学」科目の開設率(全体)

文学一般」とは、具体的な国が示されずに、「外国（または世界）」という地域だけ示されている科目のことである。同様に、「東洋文学一般」「西洋文学一般」は、具体的な国が示されずに、「東洋」または「西洋」という地域だけが示されている科目のことである。図 4 は、「全体」について、グラフに表したものである。表 8、図 4 から、次のことが言えよう。

- ・「外国文学」の国の範囲はそれほど広くない。<sup>11)</sup> 国名の明示されているものを見ると、中国と欧米でほとんどである。しかも、欧米も、英米、フ

ランス、ドイツ、ロシアでほとんどである。(「上記以外の国の外国文学」に属すものは、ギリシャ、北欧、イタリアの三つにすぎない)。

- ・大学・学部とも、「中国文学」「西洋文学一般」「外国文学一般」の三つが開設率が高い。学部になると、特にこの傾向が強まる。そして、欧米文学の中では、「英米文学」「ドイツ文学」「フランス文学」「ロシア文学」の順に開設率が高い。
- ・「国立」「公立」「私立」の別に見ると、いずれも上述の「全体」の傾向があてはまるが、「国立」に開設率の高い科目群が多く、私立に少ないことが目につく。

6) 「言語学」科目(1)——「日本語」科目と「外国語」科目——

表9は、「日本語」科目と「外国語」科目の開設率を示したものである。(どの国の言語を扱っているのか分からない「一般」に入れた科目は、「外国語」を積極的に扱っていないという理由で、「日本語」に入れた。また、「文学一言語学」に属す科目を加えた)。「言語学」科目を扱っている大学・学部は、「全体」の半分に満たない。図5は、「全体」について、グラフに表したものである。表9、図5から、次のことが言えよう。

- ・「外国語」科目を開設している大学・学部の割合は少ない。「両方開設」と『「外国語」科目だけ』をあわせても、大学7.5%、学部8.6%である。もっとも、「大学設置基準」には、「一般教育科目」のほかに「外国語科

表9 「日本語」科目と「外国語」科目の開設率

|           | 大 学  |      |      |      | 学 部  |      |      |      |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|           | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   |
| 両方開設      | 7.9  | 0.0  | 4.8  | 5.0  | 11.2 | 0.0  | 4.2  | 6.0  |
| 「日本語」科目だけ | 41.6 | 38.2 | 32.1 | 34.6 | 44.8 | 51.8 | 34.2 | 38.8 |
| 「外国語」科目だけ | 2.2  | 5.9  | 2.2  | 2.5  | 4.2  | 3.7  | 1.8  | 2.6  |
| 開設していない   | 48.3 | 55.9 | 60.9 | 57.9 | 39.7 | 44.5 | 59.8 | 52.6 |
| 調査大学・学部数  | 89   | 34   | 314  | 437  | 330  | 81   | 684  | 1095 |

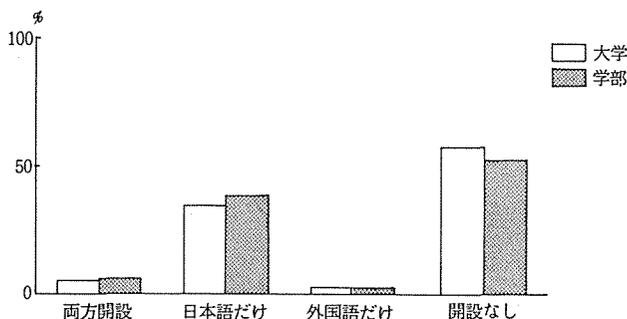


図5 「日本語」科目と「外国語」科目の開設率(全体)

目」が規定されていることを考えると、1割弱にもかかわらず開設されていることは意外であった。<sup>12)</sup>

- ・「日本語」科目は、「全体」の4割ほどの開設率である。
- ・「国立」「公立」「私立」の別に見ると、「日本語」科目、「外国語」科目とも、「国立」「公立」「私立」の順に開設率が低くなっている。

7) 「言語学」科目(2)——「日本語」科目：「日本語一般」科目と「言語技術」科目——

表10は、「言語一般」「日本語」科目の中で、「日本語一般」科目と「言語技術」科目の開設率を示したものである。「言語技術」科目は、言語コミュニケーション上の広い意味での技術に関する科目のこととした。「言語学・一般」

表10 「日本語一般」科目と「言語技術」科目の開設率

|             | 大 学  |      |      |      | 学 部  |      |      |      |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|             | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   | 国立   | 公立   | 私立   | 全体   |
| 両方開設        | 3.4  | 0.0  | 7.3  | 5.9  | 4.2  | 0.0  | 7.3  | 5.8  |
| 「日本語一般」科目だけ | 45.0 | 35.3 | 18.5 | 25.2 | 50.3 | 50.6 | 19.7 | 31.3 |
| 「言語技術」科目だけ  | 1.1  | 2.9  | 11.1 | 8.5  | 1.5  | 1.2  | 11.4 | 7.7  |
| 開設していない     | 50.5 | 61.8 | 63.1 | 60.4 | 44.0 | 48.2 | 61.6 | 55.2 |
| 調査大学・学部数    | 89   | 34   | 314  | 437  | 330  | 81   | 684  | 1095 |

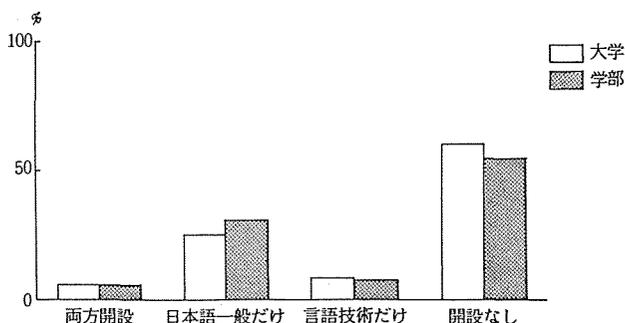


図6 「日本語一般」科目と「言語技術」科目の開設率(全体)

に属す科目は、「日本語一般」と「言語技術」に割り振った。図6は、「全体」について、グラフに表したものである。表10、図6から、次のことが言えよう。

- ・「日本語」科目を開設している大学・学部は半分に満たない。その中でも、「言語技術」科目の開設率は低い。「両方開設」と「『言語技術』科目だけ」をあわせても、大学14.4%，学部13.5%である。
- ・「国立」「公立」「私立」別に見ると、「私立」で「言語技術」科目の開設率の高いことが目につく。「国立」は「公立」よりも高いが、それでも「私立」に比べるとかなり低い。

さて、表11は、「言語技術」科目の下位区分の科目それぞれの開設率を示したものである。図7は、「全体」について、グラフに表したものである。「表

表11 「言語技術」科目の開設率

|          | 大 学 |     |      |      | 学 部 |     |      |      |
|----------|-----|-----|------|------|-----|-----|------|------|
|          | 国立  | 公立  | 私立   | 全体   | 国立  | 公立  | 私立   | 全体   |
| 言語技術—一般  | 0.0 | 0.0 | 1.3  | 0.9  | 0.0 | 0.0 | 1.2  | 0.7  |
| 言語技術—表現  | 3.4 | 2.9 | 16.9 | 13.0 | 5.5 | 1.2 | 17.5 | 12.7 |
| 言語技術—理解  | 2.2 | 0.0 | 1.0  | 1.1  | 3.9 | 0.0 | 0.4  | 1.5  |
| 言語技術—書道  | 1.1 | 0.0 | 1.3  | 1.1  | 0.3 | 0.0 | 0.7  | 0.5  |
| 調査大学・学部数 | 89  | 34  | 314  | 437  | 330 | 81  | 684  | 1095 |

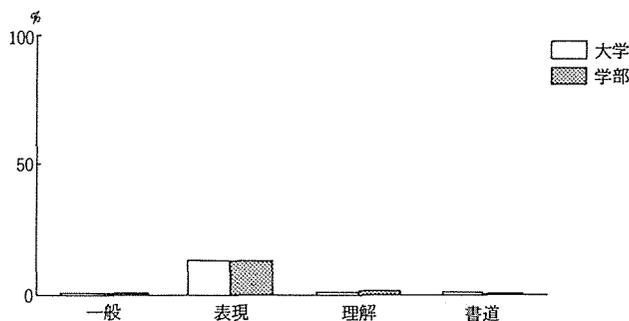


図7 「言語技術」科目の開設率(全体)

現」に関する科目が多いこと、特に「私立」でその傾向がきわめて強いことが見られよう。

#### 8) 「言語学」科目(3)——「外国語」科目——

表12は、「外国文学」科目と同じように、国(地域)別に「外国語」科目の開設率を示したものである。「国(地域)」の取り扱いについては、「外国文学」科目と同じである。図8は、「全体」について、グラフに表したものである。表12, 図8から、次のことが言えよう。

- ・「外国文学」と同じように、「外国語」の国の範囲もそれほど広がらない。

表12 「外国語」科目の開設率

|            | 大 学 |     |     |     | 学 部 |     |     |      |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
|            | 国立  | 公立  | 私立  | 全体  | 国立  | 公立  | 私立  | 全体   |
| 外国語一般      | 2.2 | 0.0 | 1.0 | 1.1 | 4.5 | 0.0 | 1.2 | 2.1  |
| 西洋語一般      | 1.1 | 0.0 | 0.3 | 0.5 | 2.7 | 0.0 | 0.6 | 1.2  |
| 中国語        | 0.0 | 2.9 | 0.6 | 0.7 | 0.0 | 1.2 | 0.7 | 0.5  |
| 英米語        | 4.5 | 2.9 | 4.8 | 4.6 | 6.4 | 2.5 | 4.1 | 4.7  |
| フランス語      | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.6  |
| ドイツ語       | 4.5 | 0.0 | 1.3 | 1.8 | 6.1 | 0.0 | 0.6 | 2.2  |
| 上記以外の国の外国語 | 4.5 | 0.0 | 1.0 | 1.6 | 9.7 | 0.0 | 0.4 | 3.2  |
| 調査大学・学部数   | 89  | 34  | 314 | 437 | 330 | 81  | 684 | 1095 |

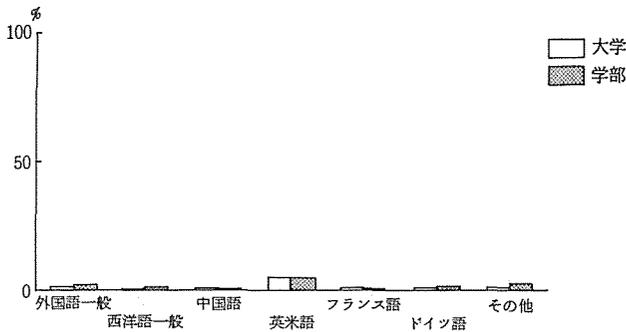


図8 「外国語」科目の開設率(全体)

国名の明示されているものを見ると、中国と欧米でほとんどである。しかも、欧米も、英米、フランス、ドイツでほとんどである。

- ・ 全般的に開設率の低い科目が多い。その中で、「英米語」科目が比較的开設率が高い。
- ・ 「国立」「公立」「私立」の別に見ると、「国立」が「公立」「私立」よりも開設率がやや高いようである。ただし、全般的に開設率の低い科目が多いので、それほど大きな違いとは言えない。

#### 4. 大学・学部の特性と「文学」「言語学」科目

##### (1) 大学の研究機能との関係

天野郁夫は、<sup>13)</sup> 一般的な4年制大学の分類を考えた。すなわち、まず、大学の研究機能の面から、

- ・ 研究大学——「すべての学部の上に博士課程大学院をもち、大学院生の比が大きい大学」
- ・ 大学院大学——「すべてないしは大多数の学部の上に博士課程の大学院をもつが」、大学院生の比が大きい大学」
- ・ 準大学院大学——「一部の学部の上だけに博士課程の大学院をもち、大学院生の比が大きい大学」
- ・ 修士大学——「修士課程の大学院だけをもつ大学」

・学部大学——「大学院をおかない、学部のみ」の大学」  
の五つに大きく分け、そして、学部構成の面から、  
・総合大学——「人文系」「社会系」「自然系」「医歯系」の学部のうち、4  
ないし3をもつ大学  
・複合大学——上の4種類の学部（分類）のうち2をもつ大学  
・単系大学——上の4種類の学部（分類）のうち1だけの大学  
の三つに分け、さらにそれらの中を細分して、最終的に次のような大学分類  
を行っている。（「付録3：天野郁夫の大学分類」に、分類ごとに大学を一覧  
した）。

#### 1. 研究大学

- (1) 総合大学
- (2) 複合大学
- (3) 単系大学

#### 2. 大学院大学

- (1) 総合大学
- (2) 複合大学
- (3) 単系大学（医歯系）
- (4) 単系大学（非医歯系）

#### 3. 準大学院大学

- (1) 総合大学
- (2) 複合大学

#### 4. 修士大学

- (1) 総合大学
- (2) 複合大学
- (3) 単系大学（人文系）
- (4) 単系大学（社会系）
- (5) 単系大学（自然系）

#### 5. 学部大学

表13 「文学」「言語学」科目の開設——研究機能の面からの大学の分類別——

| 科 目 群      | 大 学  |      |      |      |      |      | 学 部  |      |      |      |      |      |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|            | 研究   | 院    | 準院   | 修士   | 学部   | 全体   | 研究   | 院    | 準院   | 修士   | 学部   | 全体   |
| 文一言・一・一般   | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.5  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.1  | 0.3  |
| 文一言・日・一般   | 21.7 | 4.6  | 0.0  | 6.0  | 5.3  | 5.7  | 26.8 | 5.0  | 0.0  | 6.8  | 5.7  | 7.6  |
| 文一言・外・英米   | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.5  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.4  | 0.1  |
| 文一言・外・フランス | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.5  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.4  | 0.1  |
| 文一言・外・ドイツ  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.5  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.4  | 0.1  |
| 文学・一・一般    | 60.9 | 69.4 | 70.6 | 71.4 | 73.9 | 71.4 | 47.7 | 71.7 | 66.0 | 68.2 | 77.0 | 68.1 |
| 文学・一・古典    | 4.3  | 3.7  | 8.8  | 1.2  | 1.1  | 2.5  | 4.0  | 2.2  | 6.4  | 0.6  | 1.1  | 2.6  |
| 文学・一・近現代   | 4.3  | 0.0  | 8.8  | 1.2  | 0.5  | 1.4  | 1.3  | 0.0  | 9.0  | 0.6  | 1.1  | 2.1  |
| 文学・日・一般    | 60.9 | 31.5 | 50.0 | 29.8 | 20.2 | 29.3 | 64.4 | 26.8 | 46.3 | 32.4 | 18.0 | 34.1 |
| 文学・日・古典    | 8.7  | 1.9  | 14.7 | 1.2  | 0.5  | 2.5  | 2.0  | 0.6  | 13.8 | 3.4  | 0.4  | 3.5  |
| 文学・日・近現代   | 13.0 | 2.8  | 5.9  | 4.8  | 0.5  | 3.0  | 5.4  | 0.9  | 5.3  | 7.4  | 1.1  | 3.4  |
| 文学・外・一般    | 21.7 | 7.4  | 14.7 | 6.0  | 5.9  | 7.8  | 11.4 | 7.5  | 16.5 | 10.2 | 4.2  | 9.2  |
| 文学・外・東洋    | 17.4 | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.1  | 1.4  | 26.8 | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.1  | 3.9  |
| 文学・外・西洋    | 43.5 | 8.3  | 20.6 | 10.7 | 6.4  | 10.8 | 54.4 | 11.5 | 18.1 | 11.9 | 7.7  | 17.6 |
| 文学・外・中国    | 47.8 | 12.0 | 35.3 | 10.7 | 6.9  | 13.3 | 53.0 | 18.4 | 35.1 | 12.5 | 6.9  | 22.3 |
| 文学・外・英米    | 30.4 | 3.7  | 11.8 | 9.5  | 3.7  | 6.9  | 28.9 | 2.5  | 13.3 | 9.1  | 4.2  | 9.4  |
| 文学・外・フランス  | 26.1 | 1.9  | 2.9  | 3.6  | 1.1  | 3.2  | 22.8 | 0.6  | 4.3  | 5.1  | 0.8  | 5.0  |
| 文学・外・ドイツ   | 17.4 | 4.6  | 11.8 | 4.8  | 0.5  | 4.1  | 18.8 | 2.5  | 16.0 | 4.5  | 1.5  | 7.1  |
| 文学・外・ロシア   | 17.4 | 0.0  | 0.0  | 1.2  | 0.0  | 1.1  | 16.1 | 0.0  | 0.0  | 1.1  | 0.0  | 2.4  |
| 文学・外・その他   | 4.3  | 2.8  | 0.0  | 0.0  | 0.5  | 1.1  | 4.0  | 1.9  | 0.0  | 0.0  | 0.8  | 1.3  |
| 文学・比・一般    | 4.3  | 1.9  | 5.9  | 2.4  | 1.6  | 2.3  | 7.4  | 3.1  | 3.7  | 1.7  | 1.5  | 3.2  |
| 文学・読・一般    | 4.3  | 0.0  | 2.9  | 0.0  | 1.1  | 0.9  | 6.0  | 0.0  | 2.1  | 0.0  | 0.8  | 1.4  |
| 言語学・一・一般   | 39.1 | 13.0 | 17.6 | 19.0 | 8.5  | 14.0 | 35.6 | 12.8 | 17.0 | 21.0 | 8.0  | 16.8 |
| 言語学・一・技一般  | 0.0  | 0.9  | 0.0  | 1.2  | 1.1  | 0.9  | 0.0  | 0.9  | 0.0  | 1.1  | 1.1  | 0.7  |
| 言語学・一・技一表現 | 8.7  | 8.3  | 5.9  | 9.5  | 5.3  | 7.1  | 8.1  | 10.0 | 3.2  | 7.4  | 4.2  | 6.8  |
| 言語学・一・対照研究 | 8.7  | 0.0  | 2.9  | 2.4  | 0.5  | 1.4  | 1.3  | 0.0  | 2.7  | 1.7  | 0.4  | 1.0  |
| 言語学・日・一般   | 56.5 | 13.9 | 17.6 | 13.1 | 16.0 | 17.2 | 56.4 | 13.1 | 17.0 | 15.9 | 16.5 | 20.9 |
| 言語学・日・技一表現 | 13.0 | 7.4  | 5.9  | 2.4  | 6.9  | 6.4  | 8.7  | 6.5  | 6.9  | 1.7  | 6.5  | 6.1  |
| 言語学・日・技一理解 | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.5  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.4  | 0.1  |
| 言語学・日・技一書道 | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.2  | 2.1  | 1.1  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.1  | 1.5  | 0.5  |
| 言語学・外・一般   | 0.0  | 1.9  | 5.9  | 1.2  | 0.0  | 1.1  | 0.0  | 2.2  | 8.0  | 0.6  | 0.0  | 2.1  |
| 言語学・外・西洋   | 4.3  | 0.0  | 2.9  | 0.0  | 0.0  | 0.5  | 6.0  | 0.0  | 2.1  | 0.0  | 0.0  | 1.2  |
| 言語学・外・中国   | 0.0  | 1.9  | 0.0  | 0.0  | 0.5  | 0.7  | 0.0  | 1.6  | 0.0  | 0.0  | 0.4  | 0.5  |
| 言語学・外・英米   | 4.3  | 6.5  | 11.8 | 2.4  | 2.7  | 4.3  | 1.3  | 3.4  | 12.8 | 2.8  | 3.1  | 4.6  |
| 言語学・外・フランス | 4.3  | 0.9  | 0.0  | 1.2  | 0.0  | 0.7  | 0.7  | 1.2  | 0.0  | 0.6  | 0.0  | 0.5  |
| 言語学・外・ドイツ  | 4.3  | 0.9  | 5.9  | 2.4  | 0.5  | 1.6  | 0.7  | 0.3  | 9.6  | 1.1  | 0.4  | 2.1  |
| 言語学・外・その他  | 13.0 | 0.9  | 5.9  | 0.0  | 0.5  | 1.6  | 13.4 | 0.3  | 6.9  | 0.0  | 0.4  | 3.2  |
| 調査大学・学部数   | 23   | 108  | 34   | 84   | 188  | 437  | 149  | 321  | 188  | 176  | 261  | 1095 |

表14 開設率別科目群数——研究機能の面からの大学の分類別——

| 開設率        | 大 学 |    |    |    |    | 学 部 |    |    |    |    |
|------------|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|
|            | 研究  | 院  | 準院 | 修士 | 学部 | 研究  | 院  | 準院 | 修士 | 学部 |
| 10.0-100.0 | 16  | 5  | 11 | 6  | 3  | 14  | 7  | 11 | 7  | 3  |
| 5.0- 9.9   | 3   | 5  | 9  | 4  | 7  | 6   | 3  | 7  | 5  | 5  |
| 0.0- 4.9   | 18  | 27 | 17 | 27 | 27 | 17  | 27 | 19 | 25 | 29 |

- (1) 複合大学
- (2) 単系大学 (人文系)
- (3) 単系大学 (社会系)
- (4) 単系大学 (自然系)
- (5) 単系大学 (女子系)

ここでは、天野郁夫の分類に基づいて、大学の研究機能の面からの分類と「文学」「言語学」科目の開設率との関係について見ることにする。

表13は、その大学の分類ごとに「文学」「言語学」科目の開設率をまとめたものである。また、表14は、3-(2)と同じように、37の科目群をやや変形の度数分布表にまとめたものである。(表中、「研究」は「研究大学」,「院」は「大学院大学」,「準院」は「準大学院大学」,「修士」は「修士大学」,「学部」は「学部大学」のこと)。これらの表から、次のことが言えよう。

- ・ 開設率の高い科目群 (開設率が10%以上の科目群, 開設率が5%以上の科目群) の数を見ると、「研究大学」と「準大学院大学」が多い。この二つに比べると、「大学院大学」「修士大学」「学部大学」の三つは開設率の高い科目群の数が少ない。
- ・ 開設率の高い科目群の多い「研究大学」と「準大学院大学」では、ほかの大学と比べて、「外国文学」「外国語」の科目が多く開設されていることが見られる。

結論的に言えば、研究機能の高い大学は「文学」「言語学」科目の開設率が高いという傾向があるが、両者にそれほどはっきりとした関係はない、と言

表15 「文学」「言語学」科目の開設率——学部構成の面からの大学の分類別——

| 科 目 群      | 大 学  |      |      |      | 学 部  |      |      |      |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|            | 総合   | 複合   | 単系   | 全体   | 総合   | 複合   | 単系   | 全体   |
| 文一言・一・一般   | 0.0  | 1.5  | 0.0  | 0.2  | 0.0  | 1.2  | 0.0  | 0.3  |
| 文一言・日・一般   | 11.1 | 2.9  | 5.2  | 5.7  | 12.5 | 3.3  | 4.7  | 7.6  |
| 文一言・外・英米   | 0.0  | 0.0  | 0.3  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.2  | 0.1  |
| 文一言・外・フランス | 0.0  | 0.0  | 0.3  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.2  | 0.1  |
| 文一言・外・ドイツ  | 0.0  | 0.0  | 0.3  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.2  | 0.1  |
| 文学・一・一般    | 71.4 | 72.1 | 71.2 | 71.4 | 63.8 | 67.6 | 73.3 | 68.1 |
| 文学・一・古典    | 9.5  | 1.5  | 1.3  | 2.5  | 5.1  | 0.8  | 1.0  | 2.6  |
| 文学・一・近現代   | 6.3  | 0.0  | 0.7  | 1.4  | 4.3  | 0.0  | 1.0  | 2.1  |
| 文学・日・一般    | 55.6 | 30.9 | 23.5 | 29.3 | 46.1 | 29.9 | 23.3 | 34.1 |
| 文学・日・古典    | 11.1 | 2.9  | 0.7  | 2.5  | 6.5  | 2.9  | 0.5  | 3.5  |
| 文学・日・近現代   | 7.9  | 7.4  | 1.0  | 3.0  | 4.0  | 5.7  | 1.2  | 3.4  |
| 文学・外・一般    | 19.0 | 8.8  | 5.2  | 7.8  | 11.9 | 10.7 | 5.4  | 9.2  |
| 文学・外・東洋    | 6.3  | 0.0  | 0.7  | 1.4  | 8.9  | 0.0  | 0.7  | 3.9  |
| 文学・外・西洋    | 30.2 | 14.7 | 5.9  | 10.8 | 29.8 | 14.8 | 5.9  | 17.6 |
| 文学・外・中国    | 42.9 | 17.6 | 6.2  | 13.3 | 38.3 | 20.9 | 5.4  | 22.3 |
| 文学・外・英米    | 17.5 | 11.8 | 3.6  | 6.9  | 15.4 | 8.2  | 3.5  | 9.4  |
| 文学・外・フランス  | 9.5  | 4.4  | 1.6  | 3.2  | 9.2  | 2.9  | 1.7  | 5.0  |
| 文学・外・ドイツ   | 14.3 | 5.9  | 1.6  | 4.1  | 13.2 | 4.5  | 2.0  | 7.1  |
| 文学・外・ロシア   | 4.8  | 2.9  | 0.0  | 1.1  | 4.5  | 2.5  | 0.0  | 2.4  |
| 文学・外・その他   | 1.6  | 1.5  | 1.0  | 1.1  | 1.3  | 1.6  | 1.0  | 1.3  |
| 文学・比・一般    | 9.5  | 1.5  | 1.0  | 2.3  | 6.5  | 1.2  | 0.7  | 3.2  |
| 文学・読・一般    | 3.2  | 0.0  | 0.7  | 0.9  | 2.9  | 0.0  | 0.5  | 1.4  |
| 言語学・一・一般   | 25.4 | 20.6 | 10.1 | 14.0 | 20.6 | 20.1 | 10.6 | 16.8 |
| 言語学・一・技一般  | 0.0  | 2.9  | 0.7  | 0.9  | 0.0  | 2.0  | 0.7  | 0.7  |
| 言語学・一・技表現  | 14.3 | 2.9  | 6.5  | 7.1  | 7.8  | 3.7  | 7.4  | 6.8  |
| 言語学・一・対照研究 | 4.8  | 0.0  | 1.0  | 1.4  | 1.6  | 0.0  | 1.0  | 1.0  |
| 言語学・日・一般   | 31.7 | 19.1 | 13.7 | 17.2 | 28.9 | 16.4 | 14.9 | 20.9 |
| 言語学・日・技表現  | 9.5  | 7.4  | 5.6  | 6.4  | 6.0  | 7.8  | 5.2  | 6.1  |
| 言語学・日・技理解  | 0.0  | 0.0  | 0.3  | 0.2  | 0.0  | 0.0  | 0.2  | 0.1  |
| 言語学・日・技書道  | 0.0  | 0.0  | 1.6  | 1.1  | 0.0  | 0.0  | 1.5  | 0.5  |
| 言語学・外・一般   | 3.2  | 2.9  | 0.3  | 1.1  | 3.4  | 2.9  | 0.2  | 2.1  |
| 言語学・外・西洋   | 3.2  | 0.0  | 0.0  | 0.5  | 2.9  | 0.0  | 0.0  | 1.2  |
| 言語学・外・中国   | 0.0  | 1.5  | 0.7  | 0.7  | 0.0  | 1.6  | 0.5  | 0.5  |
| 言語学・外・英米   | 9.5  | 5.9  | 2.9  | 4.3  | 6.7  | 4.1  | 2.5  | 4.6  |
| 言語学・外・フランス | 1.6  | 1.5  | 0.3  | 0.7  | 0.2  | 1.6  | 0.2  | 0.5  |
| 言語学・外・ドイツ  | 6.3  | 0.0  | 1.0  | 1.6  | 4.5  | 0.0  | 0.7  | 2.1  |
| 言語学・外・その他  | 6.3  | 0.0  | 1.0  | 1.6  | 7.2  | 0.0  | 0.7  | 3.2  |
| 調査大学・学部数   | 63   | 68   | 306  | 437  | 447  | 244  | 404  | 1095 |

えよう。

## (2) 大学の学部構成との関係

ここでも、天野郁夫の分類に基づいて、学部構成との関係について見ることにする。(1)で引用したように、天野は大学の学部構成を、

- ・総合大学
- ・複合大学
- ・単系大学

の三つに分けた。表15は、その分類別に開設率を示したものである。また、表16は、開設率別に科目群の数を見るために、(1)と同じ度数分布表にまとめたものである。これらの表から、次のことが言えよう。

- ・「総合大学」は、高い開設率の科目群が多い。次いで、「複合大学」「単系大学」の順である。
- ・「総合大学」は、「外国文学」「外国語」の科目群が多く開設されている。次いで、「複合大学」「単系大学」の順である。

結論的に言うと、「総合」「複合」「単系」という大学の学部構成の違いと「文学」「言語学」科目の開設率はよく対応していると言えるだろう。

表16 開設率別科目群数 —— 学部構成の面からの大学の分類別 ——

| 開設率        | 大 学 |    |    | 学 部 |    |    |
|------------|-----|----|----|-----|----|----|
|            | 総合  | 複合 | 単系 | 総合  | 複合 | 単系 |
| 10.0—100.0 | 12  | 7  | 4  | 10  | 7  | 4  |
| 5.0— 9.9   | 10  | 5  | 6  | 9   | 3  | 5  |
| 0.0— 4.9   | 15  | 25 | 27 | 18  | 27 | 28 |

## (3) 学部の種類との関係

天野郁夫も学部を分類しているが、分類基準があいまいである。そこで、ここでは学部を次の九つに分けた。

表17 「文学」「言語学」科目の開設率——学部の種類別——

| 科 目 群      | 人文   | 法経   | 教育   | 理工   | 医薬   | 農水   | 家政   | 体芸   | その他  | 全体   |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 文一言・一・一般   | 0.4  | 0.6  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.3  |
| 文一言・日・一般   | 7.2  | 7.3  | 5.2  | 7.7  | 8.3  | 8.0  | 5.0  | 3.0  | 6.0  | 7.6  |
| 文一言・外・英米   | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.0  | 0.0  | 0.1  |
| 文一言・外・フランス | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.0  | 0.0  | 0.1  |
| 文一言・外・ドイツ  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.0  | 0.0  | 0.1  |
| 文学・一・一般    | 74.0 | 70.9 | 62.1 | 66.7 | 61.4 | 68.0 | 67.5 | 30.0 | 21.0 | 68.1 |
| 文学・一・古典    | 4.5  | 2.9  | 3.4  | 1.6  | 1.4  | 2.0  | 0.0  | 0.0  | 2.0  | 2.6  |
| 文学・一・近一現代  | 1.8  | 2.9  | 1.7  | 2.2  | 1.4  | 4.0  | 0.0  | 0.0  | 1.0  | 2.1  |
| 文学・日・一般    | 28.7 | 37.4 | 43.1 | 32.2 | 31.7 | 38.0 | 30.0 | 17.0 | 14.0 | 34.1 |
| 文学・日・古典    | 2.2  | 3.2  | 5.2  | 4.4  | 4.1  | 6.0  | 0.0  | 0.0  | 3.0  | 3.5  |
| 文学・日・近一現代  | 4.0  | 2.6  | 3.4  | 3.3  | 2.8  | 8.0  | 2.5  | 1.0  | 2.0  | 3.4  |
| 文学・外・一般    | 9.0  | 10.5 | 12.1 | 9.3  | 5.5  | 8.0  | 5.0  | 6.0  | 4.0  | 9.2  |
| 文学・外・東洋    | 3.1  | 5.4  | 1.7  | 6.0  | 3.4  | 2.0  | 2.5  | 0.0  | 0.0  | 3.9  |
| 文学・外・西洋    | 16.1 | 19.8 | 24.1 | 19.1 | 14.5 | 18.0 | 12.5 | 5.0  | 6.0  | 17.6 |
| 文学・外・中国    | 20.2 | 22.4 | 43.1 | 20.8 | 20.0 | 36.0 | 5.0  | 6.0  | 11.0 | 22.3 |
| 文学・外・英米    | 9.4  | 9.6  | 13.8 | 7.7  | 8.3  | 16.0 | 2.5  | 2.0  | 7.0  | 9.4  |
| 文学・外・フランス  | 4.5  | 3.8  | 10.3 | 4.9  | 5.5  | 10.0 | 2.5  | 2.0  | 2.0  | 5.0  |
| 文学・外・ドイツ   | 3.6  | 6.7  | 15.5 | 8.7  | 9.7  | 16.0 | 0.0  | 0.0  | 2.0  | 7.1  |
| 文学・外・ロシア   | 1.8  | 1.6  | 3.4  | 1.6  | 3.4  | 4.0  | 0.0  | 0.0  | 5.0  | 2.4  |
| 文学・外・その他   | 2.7  | 1.6  | 0.0  | 0.5  | 0.7  | 0.0  | 2.5  | 0.0  | 0.0  | 1.3  |
| 文学・比・一般    | 3.1  | 3.8  | 5.2  | 2.2  | 2.1  | 4.0  | 2.5  | 1.0  | 2.0  | 3.2  |
| 文学・読・一般    | 1.3  | 0.0  | 1.7  | 0.0  | 2.8  | 2.0  | 0.0  | 0.0  | 6.0  | 1.4  |
| 言語学・一・一般   | 17.9 | 16.3 | 25.9 | 14.2 | 12.4 | 22.0 | 10.0 | 9.0  | 10.0 | 16.8 |
| 言語学・一・技一一般 | 1.8  | 1.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 2.5  | 0.0  | 0.0  | 0.7  |
| 言語学・一・技一表現 | 8.5  | 11.5 | 0.0  | 3.3  | 1.4  | 0.0  | 5.0  | 5.0  | 4.0  | 6.8  |
| 言語学・一・対照研究 | 1.8  | 0.6  | 0.0  | 0.5  | 0.7  | 2.0  | 2.5  | 0.0  | 1.0  | 1.0  |
| 言語学・日・一般   | 17.0 | 23.3 | 25.9 | 24.6 | 15.9 | 26.0 | 12.5 | 5.0  | 12.0 | 20.9 |
| 言語学・日・技一表現 | 6.7  | 9.9  | 3.4  | 2.7  | 2.1  | 4.0  | 10.0 | 3.0  | 2.0  | 6.1  |
| 言語学・日・技一理解 | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.0  | 0.0  | 0.1  |
| 言語学・日・技一書道 | 1.3  | 0.3  | 1.7  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 2.5  | 0.0  | 0.0  | 0.5  |
| 言語学・外・一般   | 1.3  | 1.9  | 3.4  | 1.6  | 3.4  | 6.0  | 0.0  | 0.0  | 1.0  | 2.1  |
| 言語学・外・西洋   | 0.9  | 0.6  | 0.0  | 0.5  | 1.4  | 2.0  | 0.0  | 0.0  | 5.0  | 1.2  |
| 言語学・外・中国   | 0.4  | 1.3  | 0.0  | 0.0  | 0.7  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.5  |
| 言語学・外・英米   | 3.6  | 4.5  | 5.2  | 4.9  | 5.5  | 8.0  | 2.5  | 1.0  | 2.0  | 4.6  |
| 言語学・外・フランス | 0.4  | 1.3  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.0  | 0.0  | 0.5  |
| 言語学・外・ドイツ  | 0.4  | 1.0  | 3.4  | 3.3  | 4.1  | 6.0  | 0.0  | 1.0  | 1.0  | 2.1  |
| 言語学・外・その他  | 1.3  | 1.0  | 5.2  | 3.3  | 6.9  | 6.0  | 0.0  | 1.0  | 6.0  | 3.2  |
| 調査学部数      | 223  | 313  | 58   | 183  | 145  | 50   | 40   | 54   | 29   | 1095 |

表18 開設率別科目群数 —— 学部の種類別 ——

| 開設率        | 人文 | 法経 | 教育 | 理工 | 医薬 | 農水 | 家政 | 体芸 | その他 |
|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 10.0-100.0 | 6  | 8  | 10 | 6  | 6  | 9  | 6  | 2  | 5   |
| 5.0- 9.9   | 5  | 5  | 5  | 5  | 7  | 8  | 4  | 6  | 7   |
| 0.0- 4.9   | 26 | 24 | 22 | 26 | 24 | 20 | 27 | 29 | 25  |

- ・ 人文——文学，社会学部など。
- ・ 法経——法学部，経済学部など。
- ・ 教育——教育学部<sup>14)</sup>，学校教育学部など。
- ・ 理工——理学部，工学部など。
- ・ 医薬——医学部，歯学部，薬学部など。
- ・ 農水——農学部，農獣医学部，水産学部など。
- ・ 家政——家政学部，生活科学部，栄養学部など。
- ・ 体芸——体育学部，芸術学部など。
- ・ その他——上記以外の学部。

表17は，その学部の種類別に開設率を示したものである。また，表18は，開設率別に科目群の数を示したものである。これらの表から，次のことが言えよう。（「その他」は以下の分析からのぞく）。

- ・ 開設率の高い科目群の数は，「農水」「教育」「法経」「医薬」が比較的多く，「人文」「理工」「家政」「体芸」が比較的少ない。特に，「体芸」は，ほかの学部と比べてひじょうに少ない。
- ・ 開設率の高い科目群の数の多い学部ほど，「外国文学」「外国語」の科目が多く開設されていることが見られる。

## 5. 調査のまとめ

以下，得られた結果を簡単にまとめることにする。

1. 全国の4年生大学の一般教育科目のうち「文学」「言語学」に関係する科目を分類したら，全部で37に分けられた。（3-11）

2. 全体的には、「文学・一般・一般」「文学・日本文学・一般」「文学・外国文学・西洋文学」「文学・外国文学・中国文学」「言語学・一般・一般」「言語学・日本語・一般」「文学－言語学・日本(文学・語)・一般」「文学・外国文学・一般」「文学・外国文学・英米文学」「文学・外国文学・フランス文学」「文学・外国文学・ドイツ文学」「言語学・一般・言語技術－表現」「言語学・日本語・言語技術－表現」などの科目群の開設率が高かった。(3-(2))

3. 大学・学部の属性別に見ると、次のような傾向が見られた。

(1) 「国立」「公立」「私立」別に見ると、開設率の高い科目群は「国立」がいちばん多く、次いで「公立」「私立」の順である。(3-(2))

(2) 大学の研究機能の面から、「研究大学」「大学院大学」「準大学院大学」「修士大学」「学部大学」に分けて見ると、「研究大学」と「準大学院大学」に開設率の高い科目群が多い。(4-(1))

(3) 大学の学部構成の面から、「総合大学」「複合大学」「単系大学」に分けて見ると、「総合大学」に開設率の高い科目群がいちばん多く、次いで「複合大学」「単系大学」の順である。(4-(2))

(4) 大学の学部の種類別に見ると、「農水」「教育」「法経」「医薬」に開設率の高い科目群が比較的多く、「人文」「理工」「家政」「体芸」は比較的少ない。(4-(3))

(5) 開設率の高い科目群の多い大学・学部は、そうでない大学・学部よりも、「外国文学」「外国語」科目の開設率が高い。(3-(2), 4-(1)(2)(3))

4. 「文学」「言語学」科目の下位区分の科目については、3-(3)(4)(5)(6)(7)(8)でくわしく見た。それらの選択される過程をモデル化すると、9のようになろう。数字は、矢印の始まりとなっている科目を開設している大学・学部が、どのくらいの確率でその下位区分の科目を開設するか、ということを示すものである。(左の数字が大学、右の数字が学部)。議論を単純にするために、3-(3)(4)(5)(6)(7)(8)で見た科目に限定して、また

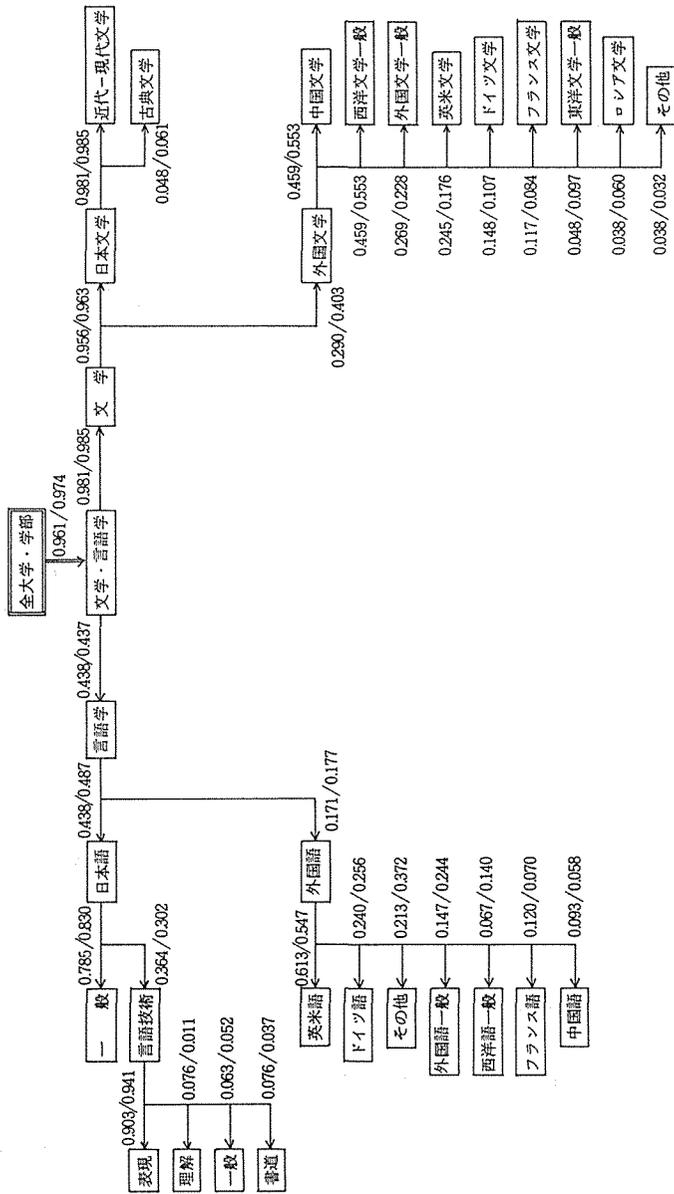


図9 「文学」「言語学」科目の開設の推移確率モデル

科目の開設形態を無視してモデル化した。

この図を見ると、「言語学」「文学」科目の開設を選択している大学・学部ほとんどが、まず「文学・日本文学・近代—現代文学」科目の開設を選択し、それから、「言語学・日本語・一般」科目、「文学・外国文学」科目などの開設を図に示した確率で順次選択していくというプロセスが考えられる。

以上、4年制大学の一般教育科目のうち、「文学」「言語学」に関する科目の開設状況を見てきた。一般教育科目は、単位の取り方の面で、基礎教育科目、外国語科目、専門教育科目と複雑にからみあっている。今後、各大学・学部の実際の履修方法を考慮した分析が必要とされよう。

#### [注]

1) この科研費プロジェクトは、「歴史研究班」「外国研究班」「入学者決定方式研究班」「職業・継続教育研究班」「教育内容研究班」「教師教育研究班」「進路指導研究班」の七つの研究班に分かれて研究が行われている。(なお、これらのほかに、全体の調整のために、上記各班の代表者からなる「総括研究班」と、科研費全体の事務を担当する「事務局」が設けられている)。

筆者は「教育内容研究班」に所属しているが、「教育内容研究班」は、「高等学校の教科内容と大学の一般教養教育との関連」を担当するものであり、具体的には、次の二つの研究を行っている。

- ① 各大学の「大学要覧」「履修案内」「教授要項」などの資料に基づいた、全国の4年制大学の一般教育科目の開設状況に関する調査
- ② 関東地方の大学生5,000人以上を主な対象とした、一般教育科目・外国語科目の受講意識に関するアンケート調査

本稿は①の研究成果の一部を報告するものである。これに関しては、ほかに次の報告がある。

- ・有本良彦、島村直己、高浦勝義「全国4年制大学一般教育科目開設状況調査Ⅰ——概要と資料——」科研費報告書、1989年8月
- ・有本良彦、島村直己、高浦勝義「全国の大学における一般教育科目開設状況の集計と分析」日本教育学会第48回大会、1989年8月29日

- ・有本良彦「資料：大学一般教育科目の分野別集計と科目の開設大学・学部数に関する集計」同上提出資料，1989年8月29日
  - ・島村直己「大学一般教育の開設状況(1)——大学・学部別集計——」同上提出資料，1989年8月29日
  - ・有本良彦，島村直己，高浦勝義「全国4年制大学一般教育科目開設状況調査II」科研費報告書，1990年3月
- 2) 「教育内容研究班」の筆者以外のメンバーは，斎藤弘，有本良彦，高浦勝義，北村恵子，沢田利夫，下野洋，長崎栄三，松原静郎，瀬沼花子，猿田祐嗣，梅埜國夫（以上，国立教育研究所），国枝マリ（北海道東海大学）である。
  - 3) この章の記述は，上に掲げた科研費報告書「全国4年制大学一般教育科目開設状況調査I——概要と資料——」の本文を簡略化したものである。ただし，この科研費報告書の本文は，最初島村が執筆して，その後，有本，高浦の加筆・修正を受けたものである。
  - 4) この二つのデータをコンピュータへ入力すること，および入力書式は，有本，斎藤，島村，高浦の4人が相談して決めた。各大学の「要覧」等を参照して，コンピュータへの入力原稿を作成することは，有本と高浦が分担した。コンピュータへの入力は，外部の業者に依頼した。入力したデータの見直し・修正作業は，有本と島村が分担した。（有本と島村の相談によって決めた基準に従って，有本が入力したデータと「要覧」等との突き合わせを行い，島村がコンピュータによるチェックと修正を受け持った）。
- その後，「分野別50音順一般教育科目表」を作成するまでに，元データ・中間データの何回もの見直し・修正作業を行ったが，それは有本と島村が共同して行った。コンピュータによる作業は，島村が行った。そして，瀬沼花子と北村恵子がデータの見直し・修正作業の一部を手伝った。また，多くのアルバイトが臨時に作業を助けたが，なかでも堀田恵美子と西村美恵子が長期にわたって従事した。
- なお，本稿で報告する調査の集計作業は，島村がすべて行った。
- 5) 入力するにあたって，上記「全国学校総覧1987年版」の「国立大学」「公立大学」「私立大学」の部で，「学部」の欄に記載されているものを学部とした。この基準によって，筑波大学の「学群」を「学部」と扱った。ただし，北海道大学，東京大学では，教養部，教養学部においてのみ一般教育が行われている。そのため，北海道大学の場合は，「文Ⅰ系」「文Ⅱ系」「文Ⅲ系」「理Ⅰ系」「理Ⅱ系」「理Ⅲ系」「水産系」「医学進学課程」「歯学進学課程」を「学部」として扱った。東京大学の場合は，「文科一類」「文科二類」「文科三類」「理科一類」「理科二類」「理科三類」を学部として扱った。
  - 6) 各大学の要覧等の収集は，本科研費プロジェクトの事務局が行った。

- 7) そのほか、次の科目が「人文・社会」に含まれる。
- ・香川医科大学の「人文社会総合講義」と大阪工業大学の「人文社会総合」。(この二つは、「要覧」等では分野と科目の両方の欄にまたがって記入されているが、この分野の中に含めた)。
  - ・和光大学の「課題科目群」の中の「人文」「社会」に登録可能なもの。(和光大学では「課題科目群」という科目区分があって、それに属す科目は、「人文」「社会」「自然」のうち1以上の分野に登録可能となっている)。
  - ・同じ科目で「人文」「社会」の両方に記されているもの(近畿大学の一部の学部)。
- なお、和光大学の「課題科目群」のうち、「人文」「自然」の両方に登録可能な科目は「人文・自然」に、「社会」「自然」の両方に登録可能な科目は「社会・自然」に、「人文」「社会」「自然」のどれにも登録可能な科目は「人文・社会・自然」にそれぞれ含めた。
- 8) 「人文」「社会」「自然」などの分野で「総合」と書かれた科目は、この分野には含めなかった。また、この分野の科目は、「人文」「社会」「自然」のどれかに登録したり読み替えをしたりすることができる場合がかなりあるが、そのことは無視した。
- 9) 「大学設置基準」では、大学の授業科目を、「一般教育科目」「外国語科目」「保健体育科目」「専門教育科目」「基礎教育科目」に分けているが、「要覧」等の記述からは、これらのどれに属すか分からない科目があった。「一般教育科目」と明示されていない科目でも、「外国語科目」「保健体育科目」「専門教育科目」「基礎教育科目」よりも「一般教育科目」に近いと考えられるときには、「一般教育科目」の中に含め、「その他」の中に入れた。(たとえば、東京女子大学の「キリスト教学」、玉川大学の「宗教・担任・労作」、大同工業大学の「特殊科目」など)。
- なお、「その他」の分野の「セミナー」「演習」などに属す科目については、授業科目の一覧表のほか、「授業内容」「授業要項」などの資料を参照して科目と認定した。その際、それらの資料に記された内容によって科目名を補った場合がある。
- 10) この「分野別50音順一般教育科目表」は、前掲科研費報告書「全国4年制大学一般教育科目開設状況調査I——概要と資料——」に報告した。
- 11) 「ロシア」のように「国名」でないものもふくめる。8)の「外国語科目」も同じである。
- 12) 「大学設置基準」には、次のように書かれている。

(授業科目の区分)

第一九条 大学で開設すべき授業科目は、その内容により、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目及び専門教育科目に分けて開設するものとする。

2 前項に規定するものほか、教育上必要があるときは、専門教育の基礎となる授業科目として、基礎教育科目を置くことができる。

13) 天野郁夫「高等教育の日本的構造」玉川大学出版部、1986年。

14) 「教育学部」には、研究者養成を中心とするものと、教員養成を中心とするものと二種類あるが、ここでは区別しなかった。

## 付録 1：調査大学一覧

### 〈国立大学〉

北海道大学, 室蘭工業大学, 北見工業大学, 小樽商科大学, 帯広畜産大学, 旭川医科大学, 弘前大学, 岩手大学, 東北大学, 宮城教育大学, 秋田大学, 山形大学, 福島大学, 茨城大学, 筑波大学, 図書館情報大学, 宇都宮大学, 群馬大学, 千葉大学, 東京大学, 東京医科歯科大学, 東京外国語大学, 東京学芸大学, 東京農工大学, 東京芸術大学, 東京工業大学, 電気通信大学, 一橋大学, 東京水産大学, 東京商船大学, 横浜国立大学, 新潟大学, 長岡技術科学大学, 上越教育大学, 富山大学, 富山医科薬科大学, 金沢大学, 福井大学, 福井医科大学, 山梨大学, 山梨医科大学, 信州大学, 岐阜大学, 静岡大学, 浜松医科大学, 名古屋大学, 愛知教育大学, 名古屋工業大学, 豊橋技術科学大学, 三重大学, 滋賀医科大学, 京都大学, 京都教育大学, 京都工芸繊維大学, 大阪大学, 大阪外国語大学, 大阪教育大学, 兵庫教育大学, 神戸大学, 神戸商船大学, 奈良教育大学, 奈良女子大学, 鳥取大学, 島根大学, 岡山大学, 広島大学, 山口大学, 徳島大学, 鳴門教育大学, 香川大学, 香川医科大学, 愛媛大学, 高知大学, 高知医科大学, 福岡教育大学, 九州大学, 九州芸術工科大学, 九州工業大学, 佐賀大学, 佐賀医科大学, 長崎大学, 熊本大学, 大分大学, 大分医科大学, 宮崎大学, 宮崎医科大学, 鹿児島大学, 鹿屋体育大学, 琉球大学

### 〈公立大学〉

札幌医科大学, 福島県立医科大学, 群馬県立女子大学, 高崎経済大学, 東京都立大学, 東京都立科学技術大学, 横浜市立大学, 金沢美術工芸大学, 都留文科大学, 岐阜薬科大学, 静岡県立大学, 愛知県立芸術大学, 名古屋市立大学, 愛知県立大学, 京都府立大学, 京都府立医科大学, 京都市立芸術大学, 大阪市立大学, 大阪女子大学, 大阪府立大学, 神戸市外国語大学, 神戸商科大学, 奈良県立医科大学, 和歌山県立医科大学, 広島女子大学, 下関市立大学, 山口女子大学, 高知女子大学, 福岡女子大学, 長崎県立国際経済大学, 北九州大学, 九州歯科大学, 熊本女子大学, 沖縄県立芸術大学

### 〈私立大学〉

北海学園大学, 札幌大学, 北海道工業大学, 函館大学, 藤女子大学, 北海道薬科大学, 北星学園大学, 北海学園北見大学, 旭川大学, 北海道東海大学, 酪農学園大学, 道都大学, 東日本学園大学, 青森大学, 東北女子大学, 八戸工業大学, 岩手医科大学, 盛岡大学, 富士大学, 秋田経済法科大学, 東北薬科大学, 宮城学院女子大学, 東北生活文化大学, 東北工業大学, 仙台大学, 郡山女子大学, 東北歯科大学, いわき明星大学, 足利工業大学, 白鷗大学, 自治医科大学, 獨協医科大学, 上武大学, 関東学園大学, 茨城キリスト教大学, 常磐大学, 流通経済大学, 千葉工業大学, 千葉商科大学, 和洋女子大学, 淑徳大学, 千葉敬愛経済大学, 神田外語大学, 中央

学院大学, 國際武道大学, 城西大学, 城西齒科大学, 東京國際大学, 東邦音楽大学, 文教大学, 跡見学園女子大学, 日本工業大学, 埼玉医科大学, 獨協大学, 埼玉工業大学, 駿河台大学, 帝京技術科学大学, 日本大学, 日本医科大学, 日本体育大学, 日本女子大学, 日本獣医畜産大学, 二松学舎大学, 法政大学, 星薬科大学, 東邦大学, 東海大学, 東洋大学, 東京女子大学, 東京女子医科大学, 東京慈恵会医科大学, 東京神学大学, 東京医科大学, 東京理科大学, 東京家政大学, 東京農業大学, 日本女子体育大学, 東京薬科大学, 東京経済大学, 東京電機大学, 中央大学, 立教大学, 東京家政学院大学, 武蔵野美術大学, 東京女子体育大学, 北里大学, 東京音楽大学, 立正大学, 早稲田大学, 学習院大学, 大正大学, 大東文化大学, 高千穂商科大学, 武蔵野女子大学, 玉川大学, 明星大学, 多摩美術大学, 津田塾大学, 武蔵大学, 武蔵野音楽大学, 武蔵工業大学, 大妻女子大学, 国立音楽大学, 慶應義塾大学, 工学院大学, 國學院大学, 和光大学, 桜美林大学, 國際基督教大学, 桐朋学園大学, 駒沢大学, 青山学院大学, 文化女子大学, 亜細亜大学, 共立薬科大学, 共立女子大学, 白百合女子大学, 明治大学, 明治学院大学, 明治薬科大学, 芝浦工業大学, 昭和大学, 昭和薬科大学, 昭和女子大学, 女子美術大学, 上智大学, 東京造形大学, 実践女子大学, 順天堂大学, 成蹊大学, 成城大学, 聖心女子大学, 女子栄養大学, 専修大学, 国士館大学, 上野学園大学, 日本社会事業大学, 日本赤十字看護大学, 清泉女子大学, 杏林大学, 創価大学, 東京工科大学, 神奈川大学, 洗足学園大学, フェリス女学院大学, 関東学院大学, 鶴見大学, 横浜商科大学, 相模工業大学, 相模女子大学, 麻布大学, 東京工芸大学, 幾徳工業大学, 産業能率大学, 昭和音楽大学, 新潟薬科大学, 金沢工業大学, 金沢経済大学, 北陸大学, 金沢女子大学, 金沢医科大学, 福井工業大学, 山梨学院大学, 長野大学, 松本大学, 岐阜女子大学, 岐阜経済大学, 聖徳学園岐阜教育大学, 朝日大学, 東海女子大学, 常葉学園大学, 中京女子大学, 愛知医科大学, 名古屋女子大学, 同朋大学, 名古屋音楽大学, 中京大学, 名古屋商科大学, 名古屋学院大学, 名古屋芸術大学, 南山大学, 愛知学泉大学, 愛知大学, 愛知学院大学, 金城学院大学, 名城大学, 中部大学, 大同工業大学, 椋山女学園大学, 日本福祉大学, 愛知工業大学, 愛知淑徳大学, 名古屋経済大学, 豊田工業大学, 皇學館大学, 松阪大学, 花園大学, 光華女子大学, 橘女子大学, 同志社大学, 同志社女子大学, 立命館大学, 大谷大学, 佛教大学, 京都産業大学, 京都薬科大学, 京都女子大学, 種智院大学, 京都外国語大学, ノートルダム女子大学, 京都精華大学, 京都学園大学, 明治鍼灸大学, 関西大学, 近畿大学, 帝塚山学院大学, 桃山学院大学, 大阪学院大学, 大阪医科大学, 大谷女子大学, 梅花女子大学, 追手門学院大学, 大阪薬科大学, 大阪経済大学, 大阪工業大学, 大阪歯科大学, 大阪樟蔭女子大学, 大阪商業大学, 関西医科大学, 大阪音楽大学, 相愛大学, 大阪芸術大学, 大阪経済法科大学, 大阪電気通信大学, 摂南大学, 帝国女子大学, 大阪産業大

学，阪南大学，大阪体育大学，四天王寺国際仏教大学，関西外国語大学，武庫川女子大学，神戸女学院大学，聖和大学，兵庫医科大学，神戸女子薬科大学，甲南大学，甲南女子大学，甲子園大学，松蔭女子学院大学，大手前女子大学，神戸学院大学，八代学院大学，親和女子大学，神戸女子大学，園田学園女子大学，英知大学，宝塚造形芸術大学，姫路獨協大学，天理大学，帝塚山大学，奈良大学，奈良産業大学，高野山大学，岡山商科大学，ノートルダム清心女子大学，岡山理科大学，就実女子大学，川崎医科大学，美作女子大学，作陽音楽大学，エリザベト音楽大学，広島修道大学，広島女学院大学，広島電機大学，広島経済大学，安田女子大学，広島文教女子大学，広島工業大学，福山大学，梅光女学院大学，東亜大学，徳山大学，四国学院大学，徳島文理大学，久留米大学，八幡大学，九州女子大学，九州共立大学，産業医科大学，福岡大学，西南学院大学，福岡工業大学，九州産業大学，第一薬科大学，中村学園大学，西日本工業大学，東和大学，福岡歯科大学，第一経済大学，長崎総合科学大学，活水女子大学，熊本工業大学，九州東海大学，熊本商科大学，尚綱大学，別府大学，日本文理大学，南九州大学，宮崎産業経営大学，鹿児島経済大学，鹿児島女子大学，沖縄国際大学，沖縄大学

## 付録 2 : 「文学」「言語学」科目の分類別一覧

以下、本稿で扱った「文学」「言語学」科目を、3-(1)の分類にしたがって一覧する。科目名は、2-(2)-2)に述べた仕方では標準化したものをあげる。(なお、「国語」は「文学・日本語・一般」に分類したが、筑波大学の「国語」だけは、科目内容から判断して、「言語学・日本語・言語技術-表現」に分類した)。

### ・文学-言語学・一般・一般

文学・語学特講

### ・文学-言語学・日本(文学・語)・一般

国語・国文学, 国語学・国文学, 国語国文, 国語国文学, 国語国文学・演習, 国語国文学・講義, 国語国文学ゼミ, 人文科学演習「国語・国文学」, 日本語・日本文学, 日本語日本文学

### ・文学-言語学・外国(文学・語)・英米

英語・英米文学

### ・文学-言語学・外国(文学・語)・フランス

仏語・仏文学

### ・文学-言語学・外国(文学・語)・ドイツ

独語・独文学

### ・文学・一般・一般

グンディズムと文学, 一般教育演習「〈物語〉研究」, 絵本・児童文学作品にみるライフサイクル, 戯曲を読む, 教養演習「戯曲を読む」, 教養演習「芸術・文学の理論」, 教養演習「児童文学を読む」, 教養演習「小説から見た世界」, 教養演習「文学」, 教養課程講義「『自己形成』の文学を読む」, 芸術・文学論, 口承文学, 詩論, 児童文学, 女流文学, 人文科学(総合)「文学の世界——作家と方法——」, 人文科学特別講義「随筆を読む——コーヒーでいい と コーヒーがいい——」, 総合科目「現代の人間と文学」, 特殊研究「文学」, 仏教と文学, 文学, 文学(プロゼミ), 文学(一般), 文学(文芸関係諸学), 文学とその周辺, 文学と人生, 文学における生の哲学, 文学の世界, 文学セミナー, 文学ゼミ, 文学ゼミナール, 文学案内(短編小説の楽しさ), 文学演習, 文学概論, 文学講読, 文学史, 文学特講, 文学論, 文芸, 文芸と社会思想, 文芸論

### ・文学・一般・古典文学

セミナー「古典文学」, 教養演習「古典を読む」, 古典, 古典と現代, 古典を読む, 古典を読んで, 古典講読, 古典文学鑑賞, 古典文学入門, 古文と現代文, 古文研究, 中古文学論, 中世文学概説

### ・文学・一般・近代-現代文学

一般教育演習「近代文学」, 教養演習「SFを読む」, 教養演習「現代詩概観」, 近

代文学の成立, 近代文学鑑賞, 近代文学講義, 現代文学, 人文科学演習「企業小説を読む」

・文学・日本文学・一般

アイヌ文学, 一般教育演習「歳時記の研究」, 教養演習「日本の戯曲と演劇の研究」, 国文学, 国文学ゼミ, 国文学演習, 国文学概説, 国文学講読, 国文学特講, 児童文学(日本), 人文科学演習「日本文学講読」, 日本文学, 日本文学とキリスト教—無神論的世界としての日本文学, 日本文学の各時代の文学的特色及び外国文学との比較考察, 日本文学概論, 日本文学基礎演習, 日本文学基礎研究, 日本文学講読, 日本文学史, 日本文学論, 俳句入門, 文学(国文学), 文学(日本), 文学(日本文学), 文学(日本文学概論), 文学案内(俳句・その構造と生活), 放送講座「日本文学」, 琉球文学, 琉球文学論, 和歌・俳句——表現を考える——

・文学・日本文学・古典文学

「百人一首」の鑑賞, 一般教育演習「万葉集を読む」, 教養演習「源氏物語」, 教養演習「中世の女流日記文学」, 教養演習「日本の古代文学」, 教養演習「能と先行文芸」, 教養演習「万葉とその風土—大阪の地に係わりのある万葉歌を追って」, 教養演習「万葉の歴史と風土」, 国文学研究(古典), 日本の古典, 日本の古典劇—異国語を通して, 日本古典文学研究, 日本文学古典, 万葉の世界, 和歌文学概説

・文学・日本文学・近代—現代文学

夏目漱石の思想, 基礎演習「手塚治虫の世界観を学ぶ——火の鳥を中心に——」, 教養ゼミ「宮沢賢治の動物たち」, 教養演習「『夜明け前』研究」, 教養演習「現代の日本文学を読む」, 教養演習「日本近代文学短編傑作選」, 教養課程講義「森鷗外と西欧」, 国文学研究(現代), 人文科学特別講義「中原中也の世界」, 総合科目「太宰治論」, 日本近代文学史, 日本近代文学入門, 日本現代文学研究, 日本文学(近代詩鑑賞), 日本文学近代, 萩原朔太郎を読む

・文学・外国文学・一般

外国文学, 外国文学ゼミ, 世界の文学, 世界文学における女性像, 東西の古典文学, 東西神話, 文学(外国), 文学(外国文学), 文学(外国文学概論)

・文学・外国文学・東洋文学

東洋文学, 東洋文学・演習, 東洋文学・講義, 東洋文学講読

・文学・外国文学・西洋文学

ヨーロッパ文学, 欧米文学, 欧米文学論, 児童文学(西洋), 人文科学演習「西洋文学」, 西洋古典, 西洋古典学, 西洋古典学概論, 西洋文学, 西洋文学(概説), 西洋文学演習, 西洋文学講読, 西洋文学史, 特講「両大戦間のヨーロッパ文学」, 文学(西欧文学), 文学(西洋), 文学(西洋文学)

・文学・外国文学・中国文学

漢文, 漢文学, 漢文学ゼミ, 漢文学入門, 漢文教室, 漢文講読, 漢文講読 (伝奇小説), 教養演習「中国の詩と詩人」, 教養漢文, 人文科学演習「漢文講読」, 人文科学演習「中国文学」, 中国の古典, 中国古典, 中国文学, 中国文学演習, 中国文学概説, 中国文学講読, 中国文学特別演習, 比較文化中文講読, 文学(漢文学), 文学(中国), 文学(中国文学)

・文学・外国文学・英米文学

Introduction to English Literature, Thomas Hardy 研究, アメリカ文学, アメリカ文学研究, イギリスの文学と思想, イギリス系カナダ文学, イギリス文学研究, 一般教育演習「シェイクスピア劇の人間像」, 一般教育演習「現代イギリス小説研究」, 一般教育演習「現代社会とアメリカ文学」, 英文学, 英文学演習, 英文学研究, 英米文学, 英米文学特別演習, 外国文学(英米), 教養演習「J. ボールドウインのエッセイ」, 教養演習「イギリスの現代文学について」, 教養演習「イギリス小説」, 教養演習「シェイクスピアと現代」, 教養演習「ディケンズの小説世界」, 教養演習「ヘミングウェイの文学」, 教養演習「英国女流作家論」, 西洋文学(英), 西洋文学(英米文学), 西洋文学(米), 文学(英語原書講読), 文学(英文学), 文学(英米文学), 文学案内(現代アメリカ小説の諸相), 米文学, 米文学研究

・文学・外国文学・フランス文学

カミュの思想, フランス文学, フランス文学特別演習, フランス文学入門, 一般教育演習「サンテグジュペリ研究」, 一般教育演習「フランス・ことばと文学」, 外国文学(仏), 教養演習「A. Camus の生涯と作品」, 西洋文学(仏), 西洋文学(仏文学), 仏文学, 文学(仏文学)

・文学・外国文学・ドイツ文学

ドイツの詩と音楽, ドイツの小説を読む, ドイツ叙情詩, ドイツ文学, ドイツ文学に見られたる女性観, ドイツ文学特別演習, ドイツ文学論, 一般教育演習「ドイツ文学演習」, 外国文学(独), 教養演習「R. M. リルケ『新詩集』を読む」, 教養演習「グリムのメルヒェンを読む」, 教養演習「ドイツ文学・演劇」, 教養演習「鷗外訳で『ファウスト』を読む」, 人文科学演習「トーマスマン ドイツ人・ドイツ」, 西洋文学(独), 独文学, 文学(独文学)

・文学・外国文学・ロシア文学

教養演習「20世紀のロシア小説を読む」, 人文科学特別講義「ドストエフスキーの生涯と作品」, 西洋文学(露), 露文学

・文学・外国文学・その他

Ibsen・Andersen への挑戦, ギリシア神話を読む, ギリシャ悲劇の人間観, ホメロスの叙事詩とその系譜, 教養演習「トルクヴァート・タッソーの世界」

・文学・比較文学・一般

教養演習「トーマス・マンと現代日本文学」、総合「宗教と文学にみられる自然観—東洋と西洋」、比較文学、比較文学比較文化、比較文芸学、文学（日本文学・西洋文学）

・文学・読書・一般

一般教育演習「西洋古典の一作品を素材として、本の読み方、まとめ方の練習をする」、教養演習「読書科学」、読書の方法—人間と社会を深く考えるために、読書ゼミナール、読書演習

・言語学・一般・一般

ことば、ことばとその機能、ことばと人間、ことばと人間と文化、ことばと文化、ことばと論理、ことばのしくみ、ことばの科学、意味論、一般音声学、一般教育演習「一般音声学入門」、一般言語学、音声学、教養演習「言語と労働の関係について」、言学、言語、言語と人間、言語と表現活動、言語と文化、言語の意味する世界、言語学、言語学概論、言語学入門、言語環境論、言語文化論、言語理論、言語論、言葉を問う、人文科学演習「言語文化」、総合科目「『言語と文化』及特論」、総合科目「言語と文化」、総合講義「言語と文化」、聴覚障害と言語、脳と言語、非言語コミュニケーション、風土と言語文化、放送講座「言語と思考」

・言語学・一般・言語技術—一般

スピーチ・コミュニケーション、基礎演習「話しことばの科学」、国際コミュニケーションと言語、総合コース「異文化コミュニケーション」

・言語学・一般・言語技術—表現

フレッシュマン・コンポジション、教養演習「資料の探し方と小論文の書き方」、教養演習「文章の書き方を学ぶ」、現代文章論、言語表現法、口頭表現法、国語、作文、実践文章講座、創作実習、表現と文体、表現学、表現法、文章の表現と鑑賞法、文章基礎演習、文章構成への初歩、文章構成法、文章表現、文章表現の理論と実践、文章表現法、文章表現論、文章論、明快に話し・書くために

・言語学・一般・対照研究

英・独・仏・伊・日本語による世界のうた、基礎演習「日本語と英語の相違——文化・思想・社会——」、教養演習「英語と日本語の比較対照研究」、教養演習「日英言語文化の比較」、教養課程講義「日・英のことばから」、比較言語論

・言語学・日本語・一般

沖縄語概説、外から見た日本語、基礎国語学、教養演習「伊豆半島言語地図の作成」、教養演習「日本語の方言」、現代日本語の諸相、国語、国語の音韻・語彙の特色について、国語の文字の特色について、国語概説、国語学、国語学ゼミ、国語問題、国際社会における日本語・日本文化、書きことばの日本語論、日本語、日本語と伝達、日本語の個性、日本語の構造、日本語を考える、日本語概説、日本語学、

日本語教育, 文学 (国語), 放送講座「日本語の世界」, 方言学演習, 琉球方言概説, 話しことばの日本語論

・言語学・日本語・言語技術－表現

国語, 国語と表現, 国語概説・表現法, 国語表現, 国語表現学, 国語表現法, 国語表現論, 創作表現法, 日本の文字と表現, 日本語(表現), 日本語表現法, 日本語表現論, 日本語文章構成法, 表現論 (日本語), 文学 (国語表現), 文学 (文章表現)

・言語学・日本語・言語技術－理解

日本語 (理解)

・言語学・日本語・言語技術－書道

書道, 書道 (硬筆), 書道 (毛筆), 暮らしの中の書

・言語学・外国語・一般

外国語と外国文化, 外国語教育史, 教養演習「海外日系新聞の研究」, 語学, 語学演習

・言語学・外国語・西洋語

教養演習「ヨーロッパの言語」, 西洋古典語

・言語学・外国語・中国語

教養演習「中国の笑い話と謎謎」, 教養演習「中国言語類型地理論への招待」, 中国語入門

・言語学・外国語・英米語

”Listening and Writing” セミ, Various Aspects of English and English-speaking Cultures, シェイクスピアの英語の今日への影響, 一般教育演習「English through Drama」, 一般教育演習「アメリカ研究『ことば』『文化』『社会』」, 一般教育演習「現代英語の表現研究」, 一般教育演習「現代英語研究」, 一般教育演習「実用英語演習」, 英会話, 英会話演習, 英語の歴史, 英語セミナー, 英語演習, 英語音声学, 英語学, 英語学研究, 英語原書講読, 英語講読, 英語聴きとり演習, 英文法としての変形文法, 化学英語, 教養ゼミ「News Weekを読む」, 教養ゼミ「英語と現代英米文化」, 教養演習「コンピュータマニュアルの英語」, 教養演習「英語・スピーチ」, 教養演習「英語・リーディング」, 教養演習「英語・会話」, 教養演習「英語・作文」, 教養演習「英語・時事」, 教養演習「英語・商業作文」, 教養演習「英語ヒアリングの演習」, 教養演習「英語史」, 教養演習「語学セミナー (English)」, 言語学 (英語言語学), 時事英語

・言語学・外国語・フランス語

一般教育演習「演習フランス語」, 教養演習「視聴覚によるフランス語」, 仏語原書講読

・言語学・外国語・ドイツ語

ドイツ語セミナー「喜劇について」、ドイツ語演習、ドイツ語学特講、ドイツ語特別演習「地誌」、ドイツ語特別演習「文学」、一般教育演習「ドイツ文法研究」、一般教育演習「時事ドイツ語研究」、独語ゼミナール、独語原書講読、翻訳ドイツ語から日本語へ

・言語学・外国語・その他

イタリア語、オランダ語入門、ギリシア語、ラテン語、ラテン語概論、医学古典語、一般教育演習「ポーランドの言語と文化」、人文科学特別講義「インド及びその周辺の言語と生活」

### 付録3：天野郁夫の大学分類

以下、天野郁夫の大学分類（天野郁夫「高等教育の日本の構造」玉川大学出版部、1986年）にしたがって、分類別に大学を一覧する。ただし、天野の分類は、1979年度の諸資料に基づいているので、現在（1989年）では若干異なるところがあるかもしれないが、そのことは無視した。天野のこの分類以後、校名が変わったり、新たに設立された大学については、現在の資料で分類し直した。（校名が変わった大学には、\*印を付けて、括弧の中に以前の校名を記入した。新たに設立された大学には、\*印だけを付けた）。

#### 1. 研究大学

##### (1) 総合大学

北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、広島大学、九州大学、東京都立大学、大阪市立大学、大阪府立大学、早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学

##### (2) 複合大学

お茶の水女子大学、一橋大学

##### (3) 単系大学

東京医科歯科大学、東京芸術大学、東京工業大学、札幌医科大学、日本医科大学、東京医科大学

#### 2. 大学院大学

##### (1) 総合大学

東北学院大学、日本大学、法政大学、東海大学、東洋大学、中央大学、立教大学、青山学院大学、明治大学、成蹊大学、愛知学院大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学、甲南大学、福岡大学

##### (2) 複合大学

富山医科薬科大学、城西大学、北里大学、大東文化大学、拓殖大学、玉川大学、明星大学、武蔵大学、國學院大学、駒沢大学、明治学院大学、昭和大学、順天堂大学、成城大学、専修大学、創価大学、中京大学、南山大学、愛知大学、名城大学、龍谷大学、大阪学院大学、神戸学院大学、広島修道大学、松山商科大学、西南学院大学、麻布大学\*（麻布獣医科大学）、中部大学\*（中部工業大学）

##### (3) 単系大学（医歯系）

旭川医科大学、福井医科大学、山梨医科大学、浜松医科大学、滋賀医科大学、島根医科大学、香川医科大学、高知医科大学、佐賀医科大学、大分医科大学、宮崎医科大学、福島県立医科大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学、九州歯科大学、岩手医科大学、東北歯科大学、自治医科大学、獨

協医科大学，城西歯科大学，埼玉医科大学，日本歯科大学，東京女子医科大学，東京慈恵会医科大学，東京歯科大学，神奈川歯科大学，聖マリアンナ医科大学，金沢医科大学，松本歯科大学，愛知医科大学，大阪医科大学，大阪歯科大学，関西医科大学，兵庫医科大学，川崎医科大学，産業医科大学，福岡歯科大学

#### (4) 単系大学 (非医歯系)

岐阜薬科大学，静岡薬科大学，神戸商科大学，東北薬科大学，日本女子大学，日本獣医畜産大学，二松学舎大学，星薬科大学，東京神学大学，東京理科大学，東京農業大学，東京薬科大学，東京経済大学，東京電機大学，大正大学，津田塾大学，武蔵工業大学，工学院大学，国際基督教大学，亜細亜大学，明治薬科大学，実践女子大学，皇學館大学，同志社女子大学，大谷大学，佛教大学，京都薬科大学，大谷女子大学，大阪経済大学，大阪工業大学，関西外国語大学，芦屋大学，神戸女子薬科大学，甲南女子大学，高野山大学，岡山理科大学，梅光女学院大学

### 3. 準大学院大学

#### (1) 総合大学

弘前大学，秋田大学，山形大学，群馬大学，千葉大学，新潟大学，金沢大学，信州大学，岐阜大学，三重大学，鳥取大学，岡山大学，山口大学，徳島大学，愛媛大学，長崎大学，熊本大学，鹿児島大学，横浜市立大学，名古屋市立大学，学習院大学，帝京大学，国士舘大学，神奈川大学，関東学院大学，京都産業大学，近畿大学

#### (2) 複合大学

静岡大学，静岡県立大学\*，東日本学園大学，東邦大学，立正大学，杏林大学，鶴見大学，藤田保健衛生大学\* (名古屋保健衛生大学)，久留米大学

### 4. 修士大学

#### (1) 総合大学

埼玉大学，横浜国立大学，富山大学，香川大学，佐賀大学，大分大学，九州産業大学

#### (2) 複合大学

岩手大学，福島大学，茨城大学，宇都宮大学，福井大学，山梨大学，滋賀大学，奈良女子大学，和歌山大学，島根大学，高知大学，宮崎大学，琉球大学，京都府立大学，北海学園大学，獨協大学，日本福祉大学，追手門学院大学，武庫川女子大学，福山大学，徳島文理大学

#### (3) 単系大学 (人文系)

図書館情報大学\*，東京外国語大学，東京学芸大学，愛知教育大学，大阪外国語大学，大阪教育大学，鳴門教育大学\*，鹿屋体育大学\*，金沢美術工芸大学，愛知県立芸術大学，大阪女子大学，神戸市外国語大学，東北福祉大学，日本体育大学，

東京女子大学，武蔵野美術大学，多摩美術大学，武蔵野音楽大学，大妻女子大学，国立音楽大学，文化女子大学，共立女子大学，昭和女子大学，聖心女子大学，金城学院大学，椛山女学園大学，京都女子大学，京都外国語大学，梅花女子大学，大阪音楽大学，神戸女学院大学，聖和大学\*（聖和女子大学），四国学院大学

#### (4) 単系大学（社会系）

小樽商科大学，千葉商科大学，広島経済大学

#### (5) 単系大学（自然系）

室蘭工業大学，帯広畜産大学，東京農工大学，電気通信大学，東京水産大学，東京商船大学，名古屋工業大学，京都工芸繊維大学，神戸商船大学，九州芸術工科大学，九州工業大学，姫路工業大学，北海道薬科大学，酪農学園大学，千葉工業大学，芝浦工業大学，昭和薬科大学，女子栄養大学，東京工芸大学，金沢工業大学，北陸大学，愛知工業大学，豊田工業大学\*，大阪薬科大学，長崎総合科学大学

### 5. 学部大学

#### (1) 複合大学

北九州大学，札幌大学，北星学園大学，札幌学院大学\*（札幌商科大学），いわき明星大学\*，東京国際大学\*（国際商科大学），和光大学，桜美林大学，朝日大学\*，桃山学院大学，大阪産業大学，姫路獨協大学\*，九州共立大学，沖縄国際大学，日本文理大学\*（大分工業大学），愛知学泉大学\*（安城学園大学）

#### (2) 単系大学（人文系）

北海道教育大学，宮城教育大学，上越教育大学，京都教育大学，兵庫教育大学，奈良教育大学，福岡教育大学，都留文科大学，愛知県立大学，京都市立芸術大学，沖縄県立芸術大学\*，道都大学，盛岡大学\*，仙台大学，茨城キリスト教大学，常磐大学\*，淑徳大学，神田外語大学\*，麗澤大学，国際武道大学\*，東邦音楽大学，文教大学，日本ルーテル神学大学，東京音楽大学，桐朋学園大学，東京造形大学，日本社会事業大学，洗足学園大学，昭和音楽大学\*，金沢女子大学\*，長野大学，東海女子大学\*，常葉学園大学\*，同朋大学，名古屋音楽大学，名古屋芸術大学，花園大学，種智院大学，京都精華大学，明治鍼灸大学\*，大阪芸術大学，大阪体育大学，英知大学，宝塚造形芸術大学\*，天理大学，奈良大学，作陽音楽大学，エリザベト音楽大学，中村学園大学，西九州大学，活水女子大学\*，尚絅大学，別府大学，東北生活文化大学\*（三島学園女子大学），相愛大学\*（相愛女子大学），四天王寺国際仏教大学\*（四天王寺女子大学）

#### (3) 単系大学（社会系）

高崎経済大学，下関市立大学，長崎県立国際経済大学，函館大学，北海学園北見大学，旭川大学，青森大学，八戸大学\*，富士大学，秋田経済法科大学\*（秋田

經濟大学), 白鷗大学\*, 上武大学, 関東学園大学, 流通經濟大学, 千葉敬愛經濟大学, 中央学院大学, 駿河台大学\*, 高千穂商科大学, 日本文化大学, 横浜商科大学, 産業能率大学, 金沢經濟大学, 山梨学院大学, 岐阜經濟大学, 名古屋商科大学, 名古屋学院大学, 名古屋經濟大学\*, 松阪大学\*, 京都学園大学, 大阪商業大学, 大阪經濟法科大学, 阪南大学, 八代学院大学, 奈良産業大学\*, 岡山商科大学, 東亜大学, 徳山大学, 八幡大学, 第一經濟大学, 熊本商科大学, 宮崎産業經營大学\*, 鹿児島經濟大学, 沖縄大学

#### (4) 単系大学 (自然系)

北見工業大学, 長岡技術科学大学, 豊橋技術科学大学, 東京都立科学技術大学\*, 北海道工業大学, 北海道東海大学, 八戸工業大学, 東北工業大学, 足利工業大学, 日本工業大学, 埼玉工業大学, 帝京技術科学大学\*, 東京工科大学\*, 相模工業大学, 幾徳工業大学, 新潟薬科大学, 福井工業大学, 大同工業大学, 大阪電気通信大学, 摂南大学, 甲子園大学, 広島電機大学, 広島工業大学, 久留米工業大学, 福岡工業大学, 第一薬科大学, 西日本工業大学, 東和大学, 熊本工業大学, 九州東海大学, 南九州大学, 第一工業大学\* (九州学院大学)

#### (5) 単系大学 (女子系)

群馬県立女子大学\*, 静岡女子大学, 広島女子大学, 山口女子大学, 高知女子大学, 福岡女子大学, 熊本女子大学, 藤女子大学, 東北女子大学, 弘前学院大学, 宮城学院女子大学, 郡山女子大学, 和洋女子大学, 跡見学園女子大学, 杉野女子大学, 東京家政大学, 日本女子体育大学, 東京家政学院大学, 東京女子体育大学, 武蔵野女子大学, 聖路加看護大学, 共立薬科大学, 白百合女子大学, 女子美術大学, 上野学園大学, 日本赤十字看護大学\*, 清泉女子大学, フェリス女学院大学, 相模女子大学, 京浜女子大学, 岐阜女子大学, 聖徳学園岐阜教育大学, 中京女子大学, 名古屋女子大学, 愛知淑徳大学, 光華女子大学, 橘女子大学, ノートルダム女子大学, 帝塚山学院大学\* (帝塚山女子学院), 大阪樟蔭女子大学, 帝国女子大学, 松蔭女子学院大学, 大手前女子大学, 親和女子大学, 神戸女子大学, 神戸海星女子学院大学, 園田学園女子大学, 帝塚山大学, ノートルダム清心女子大学, 就実女子大学, 美作女子大学, 広島女学院大学, 安田女子大学, 広島文教女子大学, 四国女子大学, 九州女子大学, 鹿児島女子大学

## 付録4：学部分類一覧

4-(3)で使った学部分類を一覧する。「(夜)」は「二部」のことである。この調査では別の学部として扱った。

### 1. 人文系

外国語学部, 外国語学部(夜), 教養学部, 国際言語文化学部, 人間科学部, 人間関係学部, 人文学部, 人文学部(夜), 人文社会科学部, 第一文学部, 第二文学部(夜), 文科三類, 文学部, 文学部(夜), 文芸学部, 産業社会学部, 社会学部, 社会学部(夜), 社会福祉学部, 社会福祉学部(夜), 文III系, 神学部, 仏教学部, 仏教学部(夜), 図書館情報学部

### 2. 法経系

法学部, 法学部(夜), 法経学部, 法経学部(夜), 経営学部, 経営学部(夜), 経済学部, 経済学部(夜), 商学部, 商学部(夜), 商経学部, 商経学部(夜), 第二法学部(夜), 文科一類, 文科二類, 政経学部, 政経学部(夜), 政治経済学部, 政治経済学部(夜), 第二経済学部(夜), 経営情報学部, 国際学部, 国際関係学部, 国際政治経済学部, 社会科学部, 社会科学部(夜)

### 3. 教育系

学校教育学部, 教育学部, 教育学部(夜)

### 4. 理工系

理学部, 理学部(夜), 基礎工学部, 工学部, 工学部(夜), 情報工学部, 生産工学部, 第二工学部(夜), 電気通信学部, 工芸学部, 鉱山学部, 情報学部, 繊維学部, 理科一類, 理工学部, 理工学部(夜)

### 5. 医薬系

医学進学課程, 医学専門学群, 医学部, 理科三類, 歯学進学課程, 歯学部, 松戸歯学部, 衛生学部, 環境保健学部, 看護学部, 保健学部, 薬学部

### 6. 農水系

園芸学部, 農学部, 海洋学部, 水産学部, 水産系, 獣医学部, 獣医畜産学部, 畜産学部, 農獣医学部, 酪農学部, 生物生産学部

### 7. 家政系

家政学部, 生活科学部, 栄養学部, 栄養学部(夜), 食品栄養科学部

### 8. 体芸系

体育専門学群, 体育学部, 音楽学部, 芸術学部, 芸術専門学群, 造形学部, 美術学部, 美術工芸学部, 芸術工学部

### 9. その他

文I系, 文II系, 文家政学部, 法文学部, 理I系, 理II系, 理III系, 理科二類, 総合科学部, 学芸学部, 第一学群, 第二学群, 第三学群, 文理学部, 商船学部, 鍼灸学部